

令和 8 (2026) 年度

医 学 系 便 覧

東京大学大学院医学系研究科

目 次		
	2026 年度医学系研究科 学事日程一覧	1
	2026 年度医学系研究科 授業日程	3
	医学系研究科 授業時間割	4
	医学系研究科 役職者	5
	各種連絡先、相談施設	6
1. 大学院担当の業務等について		
	大学院担当の窓口業務	7
	掲示板	7
2. 諸手続等について		
	学生証・通学定期乗車券発行控	8
	各種証明書(学割証など)	8
	学籍に関する手続・必要書類一覧	10
	学研災 (学生教育研究災害傷害保険)	13
	授業料の納付及び授業料免除・猶予申請について	14
	授業料未納の場合の措置	14
3. 留学生に関する諸手続等について		
	留学生ハンドブックについて	16
	在留期間更新手続について	16
	留学生の宿舎について	16
	国際交流室	17
4. 奨学金・その他主な支援制度について		
	奨学金等	18
	その他の主な支援制度	18
5. 課程の修了について		
	修業年限	19
	単位の取得	19
	学位論文審査	22
6. 2026 年度講義科目一覧		
	健康科学・看護学専攻講義科目一覧	23
	国際保健学専攻講義科目一覧	28
	公共健康医学専攻開講科目一覧	31
	医学共通科目開講科目一覧	33
	医学共通科目 (がんプロ) 開講予定表	37
	生命科学技術国際卓越大学院プログラム(WINGS-LST)開講予定表	38
	演習および実習科目一覧	39
7. 医学系研究科ウェブサイトについて		58
8. 各種内規		60

2026 年度 医学系研究科学事日程一覧

4 月	<p>1 日(水)</p> <p>6 日(月)～20 日(月)</p> <p>6 日(月)</p> <p>13 日(月)</p> <p>4 月上旬</p> <p>4 月中旬～6 月下旬</p>	<p><医学系>入進学者ガイダンス</p> <p>履修登録期間(S1・S2、通年、夏季集中)</p> <p>授業開始</p> <p>東京大学入学式</p> <p><全学>新入留学生のための生活オリエンテーション【東京大学留学生支援 HP を参照】</p> <p>定期健康診断【東京大学保健センターHP を参照】</p>
5 月	<p>15 日(金)</p> <p>27 日(水)</p>	<p>博士課程(9 月修了予定者)学位授与願提出〆切</p> <p>前期分授業料引落日</p>
6 月	<p>5 月 29 日(金)～6 月 10 日(水)</p> <p>10 日(水)</p> <p>上旬頃</p> <p>上旬から 7 月下旬</p>	<p>履修登録修正期間(S1, S2, 夏季集中)</p> <p>成績登録期限(S1 科目) (※成績公開日: 6 月 12 日(金))</p> <p>医学系留学生懇親会</p> <p>秋入居宿舍申請受付(留学生)</p>
8 月	<p>6 日(木)</p> <p>上旬</p> <p>26 日(水)</p>	<p>成績登録期限(S2 科目) (※成績公開日: 8 月 10 日(月))</p> <p>後期授業料免除願書 HP 公開予定 (奨学厚生課 HP を参照)</p> <p>博士課程(9 月修了予定者)学位論文・審査委員会報告書提出博士課程(正午〆切)</p>
9 月	<p>8 月 30 日(月)～9 月 4 日(金)</p> <p>2 日(水)</p> <p>3 日(木)</p> <p>18 日(金)</p>	<p>博士課程学位論文題目届受付</p> <p>修了判定(秋修了)</p> <p>学位授与(秋修了)決定通知</p> <p>学位記授与式、学位記交付</p>
10 月	<p>1 日(木)</p> <p>2 日(金)～15 日(木)</p> <p>2 日(金)</p>	<p>東京大学秋季入学式</p> <p>履修登録期間(A1・A2・W、W 集中)</p> <p>授業開始</p>
11 月	<p>6 日(金)～12 日(木)</p> <p>6 日(金)</p> <p>24 日(火)～12 月 9 日(水)</p> <p>27 日(木)</p>	<p>論文題目届受付(SPH・修士課程)</p> <p>博士課程 学位授与願提出(17 時〆切)</p> <p>履修登録修正期間(A1, A2, W, W 集中)</p> <p>後期分授業料引落日</p>
12 月	<p>9 日(水)</p> <p>11 日(金)</p>	<p>成績登録期限(A1 科目) (※成績公開日: 12 月 11 日(金))</p> <p>SPH 課題研究論文提出(17:00〆切)</p>

	16日(水)～18日(金) 23日(水)～25日(金) 12月下旬～2月下旬	健康科学・看護学修士課程 学位論文受付(正午〆切) 医科学修士課程 学位論文受付(正午〆切) 4月入居宿舍申請受付(留学生)
2027年1月	4日(月)～6日(水) 8日(金) 13日(水)～14日(木) 18日(月)～19日(火) 29日(金)	国際保健学修士課程 学位論文受付(正午〆切) SPH 課題研究論文発表会 健康科学・看護学修士課程 修士論文発表会 国際保健学修士課程 修士論文発表会 医科学修士課程 修士論文発表会
2027年2月	5日(金)～12日(金) 12日(金) 19日(金) 中旬 17日(水)	履修登録追加期間(W、W集中) 成績登録期限(A2科目) (※成績公開日:2月16日(火)) 成績登録期限*(W科目/3月修了生)(※成績公開日:3月10日(水))* 通年科目(演習・実習等)も含む 前期授業料免除願書・日本学生支援機構奨学金願書 HP 公開予定(奨学厚生課 HP を参照) 博士課程 学位論文・審査委員会報告書等提出(正午〆切)
3月	上旬 8日(月) 3日(水) 4日(木) 中旬頃 未定	翌年度前期授業料免除願書配付【 <u>東京大学 HP を参照</u> 】 成績登録期限*(W科目/3月修了生以外)(※成績公開日:3月10日(水))*通年科目(演習・実習等)も含む 修了判定(3月修了) 学位授与決定通知 医学系留学生見学旅行 学位記授与式、学位記交付
4月	2日(金)	博士課程(2027年9月修了予定者)題目届提出〆切

備考：大学院入学試験については、各専攻の募集要項や以下のホームページを確認すること：
<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>

2026年度 医学系研究科 授業日程

		全学標準 授業日程	基礎系・臨床系	健康科学・看護学専攻、 医学系共通科目	国際保健学専攻、 公共健康医学専攻
S1 ターム	学期の始期	4月1日(水)	4月1日(水)	4月1日(水)	4月1日(水)
	授業開始	4月6日(月)	4月6日(月)	4月6日(月)	4月6日(月)
	授業終了	6月3日(水)	6月3日(水)	6月3日(水)	6月3日(水)
	学期の終期	6月3日(水)	6月3日(水)	-	6月3日(水)
S2 ターム	学期の始期	6月4日(木)	6月4日(木)	-	6月4日(木)
	授業開始	6月4日(木)	6月4日(木)	-	6月4日(木)
	授業終了	7月30日(木)	7月30日(木)	-	7月30日(木)
	夏季休業(自)	7月31日(金)	7月31日(金)	7月31日(金)	7月31日(金)
	学期の終期	9月30日(水)	9月30日(水)	9月30日(水)	9月30日(水)
A1 ターム	学期の始期	10月1日(木)	10月1日(木)	10月1日(木)	10月1日(木)
	夏季休業(至)	9月30日(水)	9月30日(水)	9月30日(水)	9月30日(水)
	授業開始	10月2日(金)	10月2日(金)	10月2日(金)	10月2日(金)
	授業終了	12月2日(水)	12月2日(水)	12月2日(水)	12月2日(水)
	学期の終期	12月2日(水)	12月2日(水)	12月2日(水)	12月2日(水)
A2 ターム	学期の始期	12月3日(木)	12月3日(木)	12月3日(木)	12月3日(木)
	授業開始	12月3日(木)	12月3日(木)	12月3日(木)	12月3日(木)
	冬季休業(自)	12月29日(火)	12月29日(火)	12月29日(火)	12月29日(火)
	冬季休業(至)	1月3日(日)	1月3日(日)	1月3日(日)	1月3日(日)
	授業終了	2月4日(木)	2月4日(木)	2月4日(木)	2月4日(木)
	学期の終期	2月4日(木)	-	2月4日(木)	2月4日(木)
W ターム ※	学期の始期	2月5日(金)	-	2月5日(金)	2月5日(金)
	授業開始	2月5日(金)	-	2月5日(金)	2月5日(金)
	授業終了	3月11日(木)	-	3月11日(木)	3月11日(木)
	春季休業(自)	3月12日(金)	3月12日(金)	3月12日(金)	3月12日(金)
	春季休業(至)	3月31日(水)	3月31日(水)	3月31日(水)	3月31日(水)
	学期の終期	3月31日(水)	3月31日(水)	3月31日(水)	3月31日(水)

(注意事項)

- この時間割は、標準のものであり、各授業科目において、これとは異なる時間で行うことがある。
シラバスの記載・掲示・授業初回における連絡等で、確認すること。
- 他専攻、他研究科、他学部の授業科目と合併となっている授業科目については、合併先の時間割により行うことがある。
(例:健康科学・看護学専攻の科目でも、公共健康医学専攻の合併となっている科目の場合、
公共健康医学専攻の日程で行うことがある。)
- 医科学専攻については、医科学専攻修士課程シラバスの記載に従う。
- Wタームは、大学本部の全学標準授業日程において、集中講義等のみを行うインテンシヴ・タームとして位置づけられており、5週間のみ。

医学系研究科 授業時間割

午前	1時限	8 : 3 0 ~ 1 0 : 1 5
	2時限	1 0 : 2 5 ~ 1 2 : 1 0
午後	3時限	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 4 5
	4時限	1 4 : 5 5 ~ 1 6 : 4 0
	5時限	1 6 : 5 0 ~ 1 8 : 3 5
	6時限	1 8 : 4 5 ~ 2 0 : 3 0

(注意事項)

・この時間割は、標準のものであり、各授業科目において、これとは異なる時間で行うことがある。シラバスの記載・掲示・授業初回における連絡等で、確認すること。

・他の専攻・研究科・学部の授業科目と合併となっている授業科目については、合併先の時間割により行うことがある。

・医科学専攻については、医科学専攻修士課程シラバスの記載に従う。

医学系研究科 役職者

研究科長

	教授	南學 正臣
--	----	-------

専攻長

医学博士課程

分子細胞生物学専攻	教授	岡田 随象
機能生物学専攻	教授	上田 泰己
病因・病理学専攻	教授	竹田 誠
生体物理医学専攻	教授	阿部 修
脳神経医学専攻	教授	尾藤 晴彦
社会医学専攻	教授	槇野 陽介
内科学専攻	教授	藤尾 圭志
生殖・発達・加齢医学専攻	教授	加藤 元博
外科学専攻	教授	星 和人

修士課程・博士後期課程

健康科学・看護学専攻	教授	池田 真理
国際保健学専攻	教授	橋爪 真弘

修士課程

医科学専攻	教授	岡田 康志
-------	----	-------

専門職学位課程

公共健康医学専攻	教授	康永 秀生
----------	----	-------

各種連絡先、相談施設

東京大学の電話番号はダイヤルイン(直通)です。03-5841- に続く電話番号を内線で通話する場合には、下4桁の前に 2 をつけてください(例：医学部大学院担当の場合は、23309)。

【参考】東京大学学生関係窓口一覧 <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/services/m01.html>
冊子「本郷の学生生活」 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/reference/h13_04.html

	担当部署	連絡先	所在地
学籍・成績・履修に関すること	医学部大学院担当	03-5841-3309	医学部本館(2号館)1階左側
倫理委員会に関すること	医学部研究支援担当	03-5841-3311	
源泉徴収票に関すること	医学部経理担当	03-5841-3315	
医学系TA(2019年度採用まで)・RA採用者の証明書に関すること	医学部人事担当	03-5841-3384	
医学系留学生の奨学金に関すること(留学一般については大学院担当)	医学部国際交流室	03-5841-3689	医学部総合中央館203号室(医学部図書館2階)
留学生の生活相談、カウンセリング	留学生支援室	03-5841-2360	第2本部棟
国費留学生、奨学金、宿舎等に関すること	国際教育推進課・本部奨学厚生課国際奨学チーム	[国費外国人留学生] 03-5841-0821 [私費外国人留学生奨学金] 03-5841-1976 [住居] 03-5841-0264	理学部1号館東棟1階
全学の相談施設(部署)への総合案内	なんでも相談コーナー	03-5841-7867/0786	プレハブ研究A棟(第2食堂東隣)1階
学業・進路・人間関係等の悩み相談(心理カウンセラー)	学生相談所	03-5841-2516	プレハブ研究A棟(第2食堂東隣)1階
ハラスメント相談	ハラスメント相談所	03-5841-2233	医学部1号館1階S107
診療、健康相談、定期健康診断	保健センター	03-5841-2573	第2本部棟
キャリア相談	キャリアサポート室	03-5841-2650	学生支援センター棟(モール階)B1階
入学料・授業料免除・徴収猶予に関すること	奨学厚生課	03-5841-2547	
各種奨学金に関すること		03-5841-2520	
学生寮に関すること		03-5841-2545/2546/2554	
アパートの紹介に関すること	東京大学消費生活共同組合	03-5841-7945	法文2号館地下(银杏・メトロ食堂正面)
学内の遺失物、警備、盗難に関すること	防災センター／安田講堂警備室	03-3815-8375 03-5841-4919	医学部教育研究棟1階／安田講堂1階

大学院担当の業務等について

大学院担当の窓口業務

(1) 主な窓口業務内容

- ① 学籍・成績・履修・論文に関すること
- ② 各種証明書の発行
- ③ 各種変更手続に関すること
- ④ 福利厚生(奨学金、宿舎等)に関すること
- ⑤ 医学系研究科の入学試験に関すること

(2) 窓口業務時間

平日 午前9時～午後5時【昼休み時間も対応しています】

【休業日】

- ① 土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始
- ② 医学系研究科の各課程（修士課程、専門職学位課程、博士後期課程、医学博士課程）の入学試験、大学入学共通テスト、東京大学入学試験等のため、窓口業務を休止することがあります。その場合はUTASで通知しますので、確認してください。

(3) 場所

医学部本館(2号館)1階、正面入口から左側に向かって奥

電話：03-5841-3309

※医科学研究所で研究活動を行っている大学院生向けに、医科学研究所の大学院事務室でも上記業務の一部を行っています。

連絡先：医科学研究所 大学院事務室 03-6409-2045(内線 72045)

掲示板

(1) 研究活動や学位取得に関する情報等、学生への通達事項は主に UTAS 掲示板

(<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>) でお知らせしますので、こまめに確認をするようにしてください。

(2) 医科学研究所で研究活動をしている大学院生には、医科学研究所大学院事務室から連絡することもあります。詳細については、医学部大学院担当に確認してください。

2. 諸手続等について

学生証・通学定期乗車券発行控

(1) 学生証は本学の学生であることを証明するものであるとともに、証明書の自動発行や図書館利用証などにも使用しますので汚損・紛失しないよう大切に取り扱い、登校の際には必ず携帯してください。紛失した場合は、再交付（有料）の手続きを行いますので、直ちに大学院担当に届け出てください。学生証再交付願はこちらからダウンロードできます：
<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/file/gakuseki/16gakuseisyou.pdf>

(2) 通学定期を購入するには、証明書（『通学定期乗車券購入証明書』・または『通学証明書』）と学生証が必要です（学生証の有効期限が過ぎている場合は、購入できません）。『通学定期乗車券購入証明書』は、入学時に学生証と一緒に配布します。
 通学定期を購入するための証明書は、通学する場所によって異なります。

【本郷キャンパスに通学】

入学時に配布された『通学定期乗車券購入証明書』を利用してください。2 学年以降に『通学定期乗車券購入証明書』が必要な場合は、現在使用中のものと交換で、大学院担当窓口で交付します。

【医科学研究所に通学】

医科学研究所 管理課 大学院事務室もしくは大学院担当窓口で、『通学定期乗車券購入証明書』（白金台キャンパス通学の判子が押印されているもの）を交付します。2 学年以降に『通学定期乗車券購入証明書』が必要な場合は、現在使用中のものと交換で、交付します。

【駒場・柏キャンパスに通学】

以下の場合、大学院担当窓口で、『通学証明書』を交付します。

- ・所属の研究室が柏・駒場キャンパスの場合
- ・正規の授業を2 コマ以上履修し、週2 日以上通学する場合。（指導教員の承認要）

【学外の研究機関に通学する場合】

以下の場合、『通学証明書』を交付しますので、大学院担当に申請してください。

- ・指導教員が連携教授であり、学外の研究機関に通学する場合
- ・学外指導委託の承認を受けて、学外の研究機関に通学する場合

事前に各鉄道会社に承認申請します。申請してから承認まで2~3 週間程度要します。

鉄道会社の承認を得てから、『通学証明書』を発行します。

鉄道会社には、年度ごとに申請が必要です。

各種証明書(学割証など)

各種証明書は、以下の方法で発行・交付されます。

在学証明書	和文・英文	自動発行機 で即日発行	最終学年より発行可能
修了見込証明書	和文・英文		
成績証明書	和文・英文		
学割証	和文のみ		1 枚で片道乗車券2 枚購入可能
上記以外の証明書	和文	大学院担当窓口 で発行	3 日間程度(土日祝除く)
	英文		1 週間程度(土日祝除く)

【自動発行機での発行について】

場 所：医学部本館(2号館)1階左側

稼働時間：平日 午前9時～午後5時

利用方法：UTAS を利用する際の ID およびパスワードを入力してください。

【UTAS 証明書発行サービス】

場所：本郷・弥生・駒場・柏キャンパスに設置

設置場所は、以下のサイトを確認してください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400010092.pdf>

利用方法：UTAS 上で申請することにより、上記に設置された発行機及び全国のコンビニから、発行できます。

発行可能な証明書につきまして、段階を追って増える予定ですが、UTAS の「証明書発行サービス」を確認してください。

【大学院担当窓口での発行について】

- ・ 申請・受領には学生証の提示が必要です。
- ・ 代理人の方が申請する場合や、受取者が代理人の場合は、学生証の写しと証明書請求者からの委任状および代理人の方の身分証明書が必要です。
- ・ 出来上がった証明書を郵送で受け取りたい場合は、返信用の封筒と切手をご持参ください。
- ・ 発行手数料は頂いておりませんが、必要最低限の部数を請求してください。
- ・ 交付には、申請してから和文証明書は3日間程度(土日祝除く)、英文証明書は1週間程度(土日祝除く)要します。年度末・学期末前後は申請が多いため、日数を多く要することがありますので、日程に余裕をもって申請するようにしてください。

学籍に関する手続・必要書類一覧

※書類の捺印について

指導教員と専攻長から捺印をもらった上で、原本をご提出ください。
連絡先等は指導教員に伺うか、各自研究室へお問い合わせください。

※書式について

医学系研究科 HP (<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/index.html>) からダウンロードしてください。

HP→在学関係者の方へ→大学院係からのお知らせ→◎学籍関係の申請様式ダウンロードはこちらから◎

事 項	提出書類	申請時期	備 考
住所変更、連絡者変更及び連絡用メールアドレス変更の届出	UTAS 上で各自変更	変更時	大学院担当からの緊急連絡に対処できない等、支障をきたすことがありますので、転居等住所変更時には「学籍」→「住所等変更入力」画面において必ず最新の情報に更新してください。
改姓名の届出	改姓名届	改姓時	在学中に、旧戸籍氏名を使用したい場合には、改姓名届を提出する際にその旨、申し出てください。 戸籍抄本、住民票等の改姓が確認できる書類を添付してください。 授業料口座登録の口座名義変更した際は、大学院担当へメール連絡してください。
国籍変更の届出	国籍変更届及び住民票	変更時	
研究指導の委託(学内)	学内研究指導委託申請書	開始の2ヶ月前	学内の他専攻・研究科等の教員のもとで研究を行う場合
研究指導の委託(学外)	学外研究指導委託申請書	開始の2ヶ月前 先方の手続き期限は各自よく確認すること	他大学・学外の研究所等の施設において研究を行う場合 修士：最大1年間 博士：1年+延長1年(最大2年) これ以上の期間については、受理できません。指導教員、先方とご相談ください。
在学のまま海外渡航して学術調査に従事する場合(2ヶ月以上)	・海外渡航申請書 ・海外渡航対策審議依頼書(渡航先が外務省が発表する危険情報レベル1以上の場のみ必要)	開始の2ヶ月前	2ヶ月以上の場合には、事前に研究科委員会で承認を得る必要があります。 状況によっては、追加書類が発生することもあるため、決まり次第大学院担当へ連絡すること。 (受理できる期間は、最大修業年限の2分の1までとする。 (医学博士課程の場合は2年間)) ※海外渡航届は、渡航先においてテロ・事故等があった場合など、学生の所在・安否を確認するために連絡先等を把握しておく必要がありますので、必ず提出してくだ
	海外渡航者帰国届	帰国後速やかに	
海外調査・研修・	・海外渡航届	渡航前	

見学・学会参加・旅行・帰省等 (2ヶ月以内)	・海外渡航対策審議依頼書 (渡航目的が教育研究にかかわる場合で、渡航先が外務省が発表する危険情報レベル1以上の場合のみ必要)		さい。
	帰国届	帰国後速やかに	
留学	留学許可願	留学する1ヶ月前	休学しない場合最大1年間です。 協定を結んでいる大学では修士・博士を通じて10単位を限度に単位認定の申請が可能です。当研究科の修了要件には含まれません。 海外の大学・施設において研究指導を受ける場合には、研究指導の委託(学外)の手続きを行ってください。
転専攻(4月のみ)	転専攻願	2月中	専攻の定員に欠員がある場合、学年の初めに限り、同一課程の他の専攻への転専攻が許可されることがあります。
指導教員の変更 (4月・10月)	指導教員変更願	夏期:2月中 冬期:8月中	修了要件として、指導教員の演習・実習を2年間履修する必要があるため、 <u>最終学年時の変更は不可(指導教員異動の場合を除く)。</u>
休学 (2ヶ月以上)	休学願 *休学理由により理由書・医師の診断書等の添付書類が必要 *一度に申請・承認可能な休学期間は最大1年です。 1年以上に及ぶ場合は、翌年度に再申請が必要です。	休学する1ヶ月前 *4/1開始の休学の場合は、原則2/20まで(土日祝日の場合は前日の平日の日まで)	東京大学で定めた理由(経済的理由、病気、出産又は育児、介護、海外における修学等)に該当する場合は、休学することができます。 授業料未納者の「休学願」は受理できませんので、充分注意してください。 休学を希望する場合には、事前に医学部大学院担当へ相談してください。 修士・専門職：最大2年間 (専門職1年コースは1年間) 博士後期：最大3年間 医学博士：最大4年間 ※学期途中から休学をする場合、休学申請時期によっては授業料が当該学期分(6カ月分)発生するため、お早めに大学院担当までご相談ください。

復学	復学願	復学する1ヶ月前 *4/1 開始の休学の場合は、原則2/20まで(土日祝日の場合は前日の平日の日まで)	休学期間の途中で休学理由が解消したため復学を早めたい場合、または休学期間終了後に復学する際に提出してください。 ※休学理由が「病気」の場合、医師の診断書も提出が必要です。
学生証再発行	学生証再交付願	適宜	紛失・磁気不良の場合、発行手数料(2000円)がかかります。
退学	退学願	退学する1ヶ月前 *3 月末退学の場合は、原則2/20まで(土日祝日の場合は前日の平日の日まで)	諸事情により退学を希望する場合は、事前に大学院担当で相談してください。 ※授業料未納者の「退学願」は受理できません ※学期途中の退学の場合、半期分の授業料が発生します。
博士課程退学 (単位取得済退学)	博士課程退学願	退学する1ヶ月前 *3 月末退学の場合は、原則2/20まで(土日祝日の場合は前日の平日の日まで)	課程修了に必要な年数以上在籍し、必要単位数を修得した者で、論文未提出や論文審査が未了のまま就職等により、退学を希望する者 ※授業料未納者の「退学願」は受理できません ※学期途中の退学の場合、半期分の授業料が発生します。
博士課程在学期間延長	博士課程在学期間延長届	4 月からの延長の場合：原則2/20まで 10 月からの延長の場合：8 月末 *学期途中からの延長となる場合は事前に期日を大学院担当までご確認ください。	課程修了に必要な年数以上在籍し、必要単位数が未修得、または論文審査が未了・未提出でさらに研究を続ける必要がある者。1 度申請すると1 年間延長となり、2 度まで申請可能。途中で学位取得をすれば、その時点で修了となります。
長期履修学生制度	長期履修申請書・履修計画書・在職証明書(就業が理由の場合)	開始の2ヶ月前(新規入学者は入学手続き時)	就業、出産・育児、介護、障害等の事情により、修学に制限がある者を対象に、修業年限を延長して計画的な履修を可能にする制度です。 長期履修開始時期は、学年の始め(4月)とし、学年の中途から開始することはできません。 また、履修計画書は指導教員とよく相談の上、作成すること。 授業料の取り扱いが通常と異なるので、速やかに大学院担当へ連絡してください。

			い。
在籍中の就職 (常勤職のみ)	勤務先の長の 承諾書(様式 随意)	入学手続き時/ 在籍中の就職時	官公庁、学校、病院、民間企業等に在職の まま入学する者は、指導教員の了解を取 った上で、勤務先の承諾書を入学手続き 時に提出すること。 <医学博士課程、修士課程医科学専攻> 「学業に専念させる」旨の勤務先の長の 承諾書【所定様式あり】 <上記以外の課程、専攻> 「在職のまま大学院に入学することに支 障はない」旨の勤務先の長の承諾書 【様式は任意】 ※本学の利益相反管理のページもご確認 ください。 (利益相反管理について： https://www.u- tokyo.ac.jp/ja/about/rules/d04_10.html)

学研災(学生教育研究災害傷害保険)

学生教育研究災害傷害保険(以下「学研災」)は、大学に学ぶ学生の教育研究活動中の災害に
対する全国的な補償制度で、安い保険料で傷害に対する給付を行い、課外活動を含む教育研究
活動や大学生活の充実を図ることを目的としています。

本学は学生の福利厚生の上昇を図るため、大学が保険料を負担して在籍する全学生を加入させて
います。https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/info-services/h06_04.html

詳細については、上記 URL を参照してください。

加入証明書が必要な際は、証明書交付願にて大学院担当へ申請してください。

保険の対象 となる傷害	この保険の補償範囲は、①正課中、②学校行事中、③学校施設内にいる間、 ④課外活動中(大学の認めた学内学生団体の、当該団体の管理下で活動を行っ ている間、ただし、学校施設外の活動は大学に届け出た活動に限られる)、⑤ 通学中または学校施設等相互間の移動中の不慮の事故による傷害・後遺障害・ 死亡が対象となります。正課中・学校行事中はもちろん、課外活動・学校施設 内休憩中を含めた教育研究活動中のほとんどの傷害事故が補償の対象となり ます。
保険金の 請求方法	万一、この保険の対象となる事故により怪我をした場合は、速やかに医学部 大学院担当にその旨を伝え、Webにて事故通知連絡を東京海上日動の学校保険 コーナーへ送信願います。 http://www.jees.or.jp/gakkensai/inform.htm 事故通知は、怪我をしてから30日以内に保険会社(東京海上日動の損害サー ビス課)へ送信してください。これを過ぎると保険金の受取りができないこと もありますので注意してください。大学院担当窓口にて、保険金請求書をご用 意しています。 「保険金請求書」は、治癒した後に作成し、保険会社(東京海上日動の損害 サービス課)に郵送してください。 [事故通知・保険金請求書類送付に係る問い合わせ先] 東京海上日動火災保険株式会社内 電話：0120-868-066/03-5223-3257

※なお、任意(自己負担)加入として、他人に怪我をさせたり、他人の財物損壊を負担する保険
(学研災付帯賠償責任保険)や、これに加えて病気治療費、感染予防費を負担する保険(学研災
付帯学生生活総合保険)があります。インターンシップや研究指導委託で先方から加入を求め

られる事があります。申込については、大学院担当へご連絡ください。
 ※教育研究目的で海外渡航する場合に加入できる学研災付帯海外留学保険への加入を希望する場合は、大学院担当へお問い合わせください。

授業料の納付及び授業料免除・猶予申請について

事 項	金額・納付時期・方法等
授業料	修士課程・専門職学位課程 : 半期 267,900 円(年額 535,800 円) 博士後期課程・医学博士課程 : 半期 260,400 円(年額 520,800 円)
納付時期	前期分(4月～9月) : 5月 後期分(10月～3月) : 11月 ☆原則各月27日、土日祝の場合は翌営業日
納付方法	預金口座振替 ・授業料預金口座振替依頼書により登録された口座からの自動引き落としによります。口座登録はオンラインで行ってください。手続きは東京大学のHPで掲載予定ですので、各自確認の上必ずご登録をお願いします。 新入生は4月28日までに登録してください。 【web登録ページ】 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/tuition-fees/h01_01.html 口座振替日 前期分 : 5月27日 後期分 : 11月27日 (当該日が金融機関の非営業日に当たる場合は翌営業日)です。 ・口座振替日の前営業日までに当該口座に授業料相当額を入金しておいてください。

経済的理由等により、授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合には、選考のうえ、授業料の免除または延納・分納が許可されることがあります。
※免除申請を行った場合も、上記の口座登録は必要です。結果が出るまで支払いは猶予されますが、結果発表から支払いまでの期限は短いため、必ず口座登録を済ませてください。
免除申請結果は各自 UTAS にログインして確認してください。
※免除申請や次年度に引き継がれません。翌年度も申請を希望する場合は、あらためて申請が必要です。

免除申請	前期	後期
申請期間	2月中旬～4月上旬頃(在学生) ※4月新入学者は入学手続き期間中	8月上旬～10月上旬頃(在学生) ※10月新入学者は入学手続き期間中
申請方法等	東京大学HPを確認すること。 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/tuition-fees/h01_02.html	
申請先	本部奨学厚生課 奨学チーム メール : syougaku.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp (メールでお問い合わせいただく際は、氏名、学生証番号(在学生の場合)を本文に記載してください。)	

授業料未納の場合の措置

授業料を未納の者に対する取り扱いは、「東京大学における授業料未納者に対する取扱要綱(平成17年3月17日 東大規則第343号)」に定められています。

各種証明書の発行の停止	在学証明書や成績証明書、または学割証などの各種証明書の発行は、授業料の納付が確認されてから発行されることとなります。
学位授与の取り消し	授業料が未納のまま修了することは出来ません。学位論文を提出する最終学年次に当該年度までの授業料が未納である場合には、

	<p>学位審査に合格していても、学位授与が取り消されることとなります。これは非常に厳しい措置ですので、このような措置を取られないよう充分気をつけてください。</p>
退学命令	<p>授業料が未納のまま修了することは出来ませんので、納付できない場合は「命令による退学」が研究科長から命ぜられることとなります。これもまた厳しい措置ですので、充分気をつけてください。</p> <p>なお、在学中であっても、当該年度の授業料が納付できない場合は、「命令による退学」が研究科長から命ぜられます。ただし、特別の理由がある場合は、納付計画書の提出により、「命令による退学」を1年間猶予することがあります。</p>

3. 留学生に関する諸手続等について

留学生ハンドブックについて

留学生の皆さんが東京大学での留学生生活を快適に過ごすことができるよう、東京大学では、「留学生ハンドブック」を用意しています。下記からダウンロードすることが出来ますので、十分活用し、わからないことがあれば留学生担当に相談してください。

留学生ハンドブック：

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/intl-activities/intl-support/international_handbook.html

留学生支援ウェブサイト：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/inbound/ja/index.html>

在留期間更新手続について

進学・進級などで在留期間更新の手続が必要な場合には、在留期間の満了する前日までに所管の入国管理局で手続が必要です。まずは留学生担当にメールでご連絡ください。大学が作成する書類の準備できるまで数週間程度かかります。提出書類に不備・不足があった場合は追加で日数がかかることがあります。早めに準備を始めてください。

《留意点》

申し込みは通常在留期間の満了する3ヶ月前から受け付けていますが、特に3月、4月、9月、10月は混雑しますので、留学生担当からの連絡をお待ちください。

在留期間の更新が許可された場合は、在留カードの写し（両面）を留学生担当へ提出してください。また、マイナンバーカードをお持ちの方は、市役所・区役所でマイナンバーカードの有効期間の更新をしてください。

在留資格関連についてはビザ・コンサルティング・サービスを提供しています。

ビザコンサルティングサービス <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/inbound/ja/life-visa-vc.html>

留学生の宿舎について

東京大学の留学生用宿舎（インターナショナル・ロッジ他）の募集は年2回行います。希望者は、1月（4月入居）、6月（9～10月入居）に東京大学宿舎入居申請オンラインシステム（OSTA）より申請してください。

ただし、抽選のため、入居を希望する留学生の皆さん全員が入居することは出来ません。

なお、目白台インターナショナル・ビレッジと追分インターナショナル・ビレッジ（追分は博士課程学生のみ）は毎月募集しています。

申請条件についてはハウジングオフィスウェブサイトをご確認ください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/housing-office/ja/index.html>

<参考情報>

東京大学宿舎入居申請オンラインシステム（OSTA）

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/housing-office/ja/osta/entry.html>

JASSO が提供する宿舎

東京国際交流館（Tokyo International Exchange Center）

ウェブサイト <https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/tiec/index.html>

毎月2回申請期間があります。申請は留学生担当で受付しています。

国際交流室

国際交流室では、留学生対象の奨学金関係および留学生イベントの計画・実施を行っています。

(1) 場所

医学図書館(総合中央館) 2階 203号室

電話 : 03-5841-3689

<https://koryu.m.u-tokyo.ac.jp/>

(2) 窓口業務時間 : 月曜日～金曜日 10:00 - 11:45 / 13:30 - 16:00

4. 奨学金・その他主な支援制度について

奨学金等

東京大学における奨学制度には主として、本学独自の学内奨学制度、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・民間団体が設置している学外奨学金があります。奨学制度のうち(貸与)は卒業後返還するもの、(給付)は返還の必要がない奨学制度です。

出願方法・審査基準・選考～採用スケジュール等の詳細は随時、UTAS 掲示等によりお知らせします。

【学内奨学制度】

種 類	概 要	申請時期	備 考
東京大学海外派遣奨学事業短期(3ヶ月以上1年以内) 海外留学等奨励金	3ヶ月以上1年以内の海外留学等を行う者への奨学金	4-5月/9月	申請の詳細については国際交流室の海外留学情報ページでお知らせします。 https://koryu.m.u-tokyo.ac.jp/overseas_study_information/?lang=ja
東京大学海外派遣奨学事業超短期(3ヶ月未満) 海外留学等奨励金	3ヶ月未満の海外留学等を行う者への奨学金		

【学外奨学制度】

種 類	種 別	備 考
日本学生支援機構奨学金	貸与	「第一種奨学金」(無利子)と「第二種奨学金」(有利子)があります。詳細については、下記を参照してください。 日本学生支援機構 HP : http://www.jasso.go.jp/ 申請の手続等の詳細については、UTAS 掲示版等によりお知らせします。
地方公共団体奨学金	給付・貸与	出願方法・審査基準・選考～採用スケジュール等の詳細は随時、UTAS 掲示版等によりお知らせします。
公益法人奨学会	給付・貸与	

【奨学金情報】 http://www.u-tokyo.ac.jp/index/h02_j.html

【海外留学等奨学金】 <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/index.html>

その他の主な支援制度

制 度	備 考
日本学術振興会特別研究員(DC) http://www.jsps.go.jp/	<ul style="list-style-type: none"> 優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する博士課程学生を「特別研究員」に採用し、研究奨励金(月額20万円程度)を支給する制度です。 募集要項・申請書・作成要領の詳細については下記 Web サイトを参照してください。 URL: http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html 博士課程修了者に対する特別研究員(PD)は、医学部研究支援担当(内線23557)で扱っています。
オンキャンパスジョブ事業	・詳細未定。募集内容が決定次第、各教室に案内する予定です。

5. 課程の修了について（修業年限・単位の取得・学位論文審査）

医学系研究科の各課程（修士課程・専門職学位課程・博士後期課程・医学博士課程）を修了するためには、下記の3つ「修業年限」「単位の取得」「学位論文審査」の要件を満たす必要があります。

修業年限

各課程で規定されている年数以上在学することが必要です。ただし、特例として各課程で規定されている修業年限を短縮して修了できることもあります。（詳細は、「修業年限の特例に関する内規」を参照してください。）

	修業年限	在学年限	休学年限
修士課程	2年	3年	2年
専門職学位課程	2年（又は1年）	3年（又は2年）	2年（又は1年）
博士後期課程	3年	5年	3年
医学博士課程	4年	6年	4年

単位の取得

各課程で規定されている科目を履修し、必要単位を取得する必要があります。

1. 履修登録の手続

開講ターム	S1、S2、通年、夏季集中	A1、A2、W、W集中
履修登録期間	4/6（月）～4/20（月）	10/2（金）～10/15（木）
履修登録修正期間	5/29（金）～6/10（水）	11/24（火）～12/9（水）
登録方法① (UTAS 利用)	履修登録期間内に、UTAS 上で履修科目の登録を行ってください。 履修が義務づけられている必修科目であっても、UTAS での履修登録が必要です。 履修登録修正期間では、履修登録期間に登録した科目の修正（追加・削除）を行えます。	
登録方法② (やむを得ない事情により、UTAS での登録が出来ない場合)	大学院担当で配布する「履修科目表」に記載し、指導教員の承認印を得た上で、本紙を大学院担当へ提出してください。（コピーを2部とり、指導教員及び本人控えとする）	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 科目番号は、授業科目一覧(P. 21 以降)を参照してください。 演習及び実習科目一覧は P. 35 以降に記載されています。 医学系研究科での「演習」「実習」とは、所属の研究室で勉強・研究（この中には研究室で行う演習やカンファランス等の出席を含みます。）を行ったことにより、その評価として「演習(4単位)+実習(4単位)」が認定されるものですので、具体的なカリキュラムは設定されていません。 上記登録期間と修正期間以外は、登録や修正は一切受け付けません。 	

【備考】 学生は、自己の成績について、成績の通知を受けてから1か月以内に限り所定の方式に従い、授業担当教員に対して説明を求めることができます。申請を希望する場合、大学院担当に連絡願います。

2. 各課程(専攻)別の修了要件

修士課程 必要単位数：30単位	
・健康科学・看護学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員の開講する「演習Ⅰ(4単位)」と「実習Ⅰ(4単位)」を2年間履修します。(4単位×2科目×2年間=16単位) ・4専攻分野から8単位以上「特論」を履修しますが、指導教員の指示により「国際保健学専攻」の特論又は「公共健康医学専攻」の講義を「健康科学・看護学専攻」の特論と見なすこともできます。 ・残りの単位については、指導教員と相談して科目(学部・他研究科の科目も含む)を決めます。 ・内容が異なれば、同じ名称の科目を2度履修できます。 ・1年間に複数の「演習」「実習」を履修することは原則としてできません。ただし専攻として特別に認める場合があります。
・健康科学・看護学専攻 保健師教育コース	<p>上記、健康科学・看護学専攻修士課程の必要単位数30単位に加えて、保健師教育コースが指定する必修科目23単位および選択科目8単位の計31単位以上を取得することで、保健師国家試験受験資格が得られます。</p>
・健康科学・看護学専攻 助産師教育コース	<p>上記、健康科学・看護学専攻修士課程の必要単位数30単位に加えて、助産師教育コースが指定する必修科目25単位および選択科目6単位の計31単位以上を取得することで、助産師国家試験受験資格が得られます。</p>
・国際保健学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員の開講する「演習Ⅰ(4単位)」と「実習Ⅰ(4単位)」を2年間履修します。(4単位×2科目×2年間=16単位) ・指導教員の開講する「特論」4単位以上を履修します。 ・残りの単位については、指導教員と相談して科目(学部・他研究科の科目も含む)を決めます。 ・内容が異なれば、同じ名称の科目を2度履修できます。 ・1年間に複数の「演習」「実習」を履修することは原則としてできません。ただし専攻として特別に認める場合があります。
・医科学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員の開講する「医科学演習(4単位)」と「医科学実習(4単位)」を2年間履修します。(4単位×2科目×2年間=16単位) ・「人体形態学」「人体機能学」「病理病態学」「臨床医学概論」「医科学概論Ⅰ」「医科学概論Ⅱ」「医科学概論Ⅲ」の7科目×2単位=14単位は1年次のS1, S2タームの必修科目です。「病院実習」(1単位)は選択科目です。 ・その他の単位については、「医学共通科目(※指導教員の開講する科目でなくて構わない)」等から選択して履修します。

専門職学位課程 必要単位数：30単位	
<ul style="list-style-type: none"> ・公共健康医学専攻 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間(1年コースは1年間)で必修科目及び選択科目を30単位以上履修します。 ・必修科目として、「必須1科目」+「選択必修5科目」の計6科目11単位以上を履修します。 2年コースの場合は、さらに「課題研究」6単位(2年次に履修)が必修となります。 ・1年コースの場合、「課題研究」6単位は選択科目となります。 ・同一年度中に50単位を超えて履修科目の登録はできません。 ・他の専攻・研究科・学部の科目は8単位まで修了単位として認定されます。 ・詳細は公共健康医学専攻(SPH)シラバスを参照すること。

博士後期課程 必要単位数：20単位	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康科学・看護学専攻 ・国際保健学専攻 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員の開講する「演習Ⅱ(4単位)+実習Ⅱ(4単位)」を2年間履修します(4単位×2科目×2年間=16単位)。 ・残りの4単位については、指導教員と相談して決めますが、「演習Ⅱ」又は「実習Ⅱ」をさらに履修することもできます。 <u>但し、学部の科目について修了単位として認められるのは医学部医学科の科目のみとなります。</u>

医学博士課程 必要単位数：30単位	
<ul style="list-style-type: none"> ・分子細胞生物学専攻 ・機能生物学専攻 ・病因・病理学専攻 ・生体物理医学専攻 ・脳神経医学専攻 ・社会医学専攻 ・内科学専攻 ・生殖・発達・加齢医学専攻 ・外科学専攻 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の所属する専攻分野の指導教員の開講する「演習(4単位)+実習(4単位)」を2年間履修します(4単位×2科目×2年間=16単位)。 ・残りの14単位については指導教員と相談して決めますが、指導教員の「演習」「実習」をさらに履修することもできます。(ただし、「演習」「実習」は各々16単位を超えて履修できません。) ・「医学共通科目(※指導教員の開講する科目でなくて構わない)」が1科目以上選択必修になりますので指導教員と相談の上、必ず履修してください。 ・「医学年間実習(8単位)」を履修した年度は他の「演習」「実習」の単位は修得できません。

学位論文審査

学位論文(専門職学位課程2年コースは課題研究)を提出し、審査に合格することが必要です。

学位論文の作成に関しては、「課程の修了に関する内規」及び、博士課程においては「博士学位論文作成要項」をよく読み、今後の掲示等に十分注意してください。また、作成にあたっては、これらのほか、各専攻で定めている事項もありますので、必ず指導教員の指示を仰いでください。

なお、「学位授与願」を提出する際、巻末に掲載の「研究ガイドライン(実験系又は調査系)」を遵守していることの宣誓の署名が必要になりますので、事前に必ず熟読してください。

課 程	手 続 き 等
修士課程	<p>修了予定者は、2026年11月6日(金)～11月12日(木)17時までに「題目届」を提出してください。</p> <p>各専攻で指定された要領により専攻ごとの提出期間に修士論文及び要旨等を大学院担当に提出してください。</p> <p>その後、修士論文発表会で学位論文を発表し、審査を受けます。</p> <p>【健康科学・看護学専攻】2026年12月16日(水)～18日(金)正午</p> <p>【医科学専攻】2026年12月23日(水)～25日(金)正午</p> <p>【国際保健学専攻】2027年1月4日(月)～6日(水)正午</p>
専門職学位課程	<p>2年コースの修了予定者は、2026年11月6日(金)～11月12日(木)17時までに「題目届」を提出した後、2026年12月11日(金)17時までに課題研究論文および抄録を大学院担当に提出してください。</p> <p>その後、1月の発表会において審査を受けます。</p>
博士後期課程 医学博士課程	<p>2027年3月の修了予定者は、2026年8月31日(月)～9月4日(金)17時までに「題目届」を提出した後、2026年11月6日(金)17時までに博士論文及び学位授与申請書類一式を大学院担当に提出してください。</p> <p>その後、5名による学位論文審査委員会において審査を受けることになります。</p> <p>審査に合格後の最終書類の提出締切日は2026年2月18日(木)正午とし、この日までに書類の提出ができなかった場合は、2027年3月には修了することができません。</p>

※博士後期課程・医学博士課程では、各課程で規定されている「修業年限」「単位の取得」の条件を満たして退学した者(満期退学者)に対して、退学後3年以内に学位論文を提出し合格すれば、当該課程を修了した者と同じ課程修了者(「課程博士」として認定します。

ただし、3年を過ぎて提出した学位論文は、「論文博士」の扱いとなり、①単位取得証明書(1通)②論文審査手数料(60,000円)が必要になりますので、十分注意してください。

2026年度健康科学・看護学専攻講義科目一覧
AY2026 School of Health Sciences and Nursing Course List

科目番号 Course Code	科目名 Course	担当教員 Instructor	曜日・時間 Day・Period	ターム Term	開始日・その他連絡事項 Start Date	単位 Credits	講義室 Classroom
41621181	健康教育・社会学特論 Special Lecture in Health Education and Health Sociology	I 鎌田 真光 KAMADA Masamitsu	准教授 Assoc. Prof.	木Thu・1&2	A1	10/8	2 SPH講義室 SPH Lecture Room
41621182	健康教育・社会学特論 Special Lecture in Health Education and Health Sociology	II 鎌田 真光 KAMADA Masamitsu	准教授 Assoc. Prof.	金Fri・3&4	A2	12/4	2 SPH講義室 SPH Lecture Room
41621121	精神保健学特論 Special Lecture in Mental Health	I 西 大輔 NISHI Daisuke	教授 Prof.	火Tue・5	S1・S2	4/7	2 SPH講義室 SPH Lecture Room
41621122	精神保健学特論 Special Lecture in Mental Health	II 西 大輔 NISHI Daisuke	教授 Prof.	火Tue・5	A1・ A2	10/6	2 SPH講義室 SPH Lecture Room
41621131	疫学・予防保健学特論 Special Lecture in Epidemiology and Preventive Health Sciences	I 篠崎 智大 SHINOZAKI Tomohiro	准教授 Assoc. Prof.	木Thu・1&2 (10:00~12:00)	S1	4/9 10:00開始Start	2 医学部3号館別棟5F(E501) またはオンライン Faculty of Medicine Annex of Bldg. 3, E501 or Online Class
41621132	疫学・予防保健学特論 Special Lecture in Epidemiology and Preventive Health Sciences	II 篠崎 智大 SHINOZAKI Tomohiro	准教授 Assoc. Prof.	木Thu・1&2 (10:00~12:00)	A1	10/8 10:00開始Start	2 医学部3号館別棟5F(E501) またはオンライン Faculty of Medicine Annex of Bldg. 3, E501 or Online Class
41621191	保健社会行動学特論 Special Lecture in Health and Social Behavior	I 村上 慶子 MURAKAMI Keiko	准教授 Assoc. Prof.	金Fri・1&2	A1	10/2	2 SPH講義室 SPH Lecture Room
41621192	保健社会行動学特論 Special Lecture in Health and Social Behavior	II 橋本 英樹 HASHIMOTO Hideki	教授 Prof.	金Fri・1&2	A2	12/4	2 SPH講義室 SPH Lecture Room
41621161	生物統計学特論 Special Lecture in Biostatistics	I		不開講 Not Offered			
41621162	生物統計学特論 Special Lecture in Biostatistics	II 松山 裕 MATSUYAMA Yutaka	教授 Prof.	水Wed 15:00-	A1	10/7 15:00開始Start	2 医学部3号館別棟5F(E501) またはオンライン Faculty of Medicine Annex of Bldg. 3, E501 or Online Class
41621171	医療倫理学特論 Special Lecture in Biomedical Ethics	I 中澤 栄輔 NAKAZAWA Eisuke	教授 Prof.	火Tue・1&2	S1	4/7	2 SPH講義室 SPH Lecture Room
41621172	医療倫理学特論 Special Lecture in Biomedical Ethics	II 中澤 栄輔 NAKAZAWA Eisuke	教授 Prof.	火Tue・1&2	S2	6/9	2 SPH講義室 SPH Lecture Room
41621411	看護体系・機能学特論 Special Lecture in Advanced Clinical Nursing	I 池田 真理 IKEDA Mari 森田 光治良 MORITA Kojiro	教授 Prof. 講師 Lecturer	火Tue・1&2	S2	6/9	2 医学部3号館S101号室 Faculty of Medicine Bldg. 3, Room S101
41621412	看護体系・機能学特論 Special Lecture in Advanced Clinical Nursing	II		不開講 Not Offered			
41621421	看護管理学特論	I 池田 真理 IKEDA Mari 森田 光治良 MORITA Kojiro	教授 Prof. 講師 Lecturer	水Wed・1&2	S1	4/8 初回または2回目は非常勤講 師の都合で月曜に開講予定	2 医学部3号館S201/202号室 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room S201/202
41621422	看護管理学特論	II 池田 真理 IKEDA Mari 森田 光治良 MORITA Kojiro	教授 Prof. 講師 Lecturer	水Wed・2	A1・ A2	10/7	2 医学部3号館N203 Faculty of Medicine Bldg. 3, N203
41621431	家族看護学特論 Special Lecture in Family Nursing	I 池田 真理 IKEDA Mari	教授 Prof.	金Fri・3&4	S2	6/5 受講希望者は5月22日(金)までに <maritakeikeda@g.ecc.u-tokyo.ac.jp> まで連絡してください。If you would like to attend, please Email < maritakeikeda@g.ecc.u-tokyo.ac.jp> by May 22.	2 医学部5号館106室 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room106
41621432	家族看護学特論 Special Lecture in Family Nursing	II 池田 真理 IKEDA Mari	教授 Prof.	金Fri・3&4	A1	10/16 受講希望者は10月9日(金)までに <maritakeikeda@g.ecc.u-tokyo.ac.jp> まで連絡してください。If you would like to attend, please Email < maritakeikeda@g.ecc.u-tokyo.ac.jp> by 22.October 9'	2 医学部5号館106室 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room106

2026年度健康科学・看護学専攻講義科目一覧
AY2026 School of Health Sciences and Nursing Course List

科目番号 Course Code	科目名 Course	担当教員 Instructor	曜日・時間 Day・Period	ターム Term	開始日・その他連絡事項 Start Date	単位 Credits	講義室 Classroom
41621441	地域看護学・公衆衛生看護学特論 Special Lecture in Community Health Nursing/Public Health Nursing	I	不開講 Not Offered				
41621442	地域看護学・公衆衛生看護学特論 Special Lecture in Community Health Nursing/Public Health Nursing	II 吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	火Tue・3&4	A1	9/29	2 医学部5号館:1F地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41621451	行政看護学特論 Special Lecture in Public Health Nursing	I 吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	水Wed・1&2	S2・A1	9/2	2 医学部5号館1F 地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41621452	行政看護学特論 Special Lecture in Public Health Nursing	II	不開講 Not Offered				
41621511	高齢者在宅長期ケア看護学特論 Special Lecture in Gerontological Home care and Long-term care Nursing	I 山本 則子	教授 Prof.	木Thu・3&4	S1	4/9 受講希望者は、事前に教室事務まで連絡してください。(内線23508) If you would like to attend, please contact to Ext: 23508	2 医学部5号館210号室 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room210
41621512	高齢者在宅長期ケア看護学特論 Special Lecture in Gerontological Home care and Long-term care Nursing	II 山本 則子	教授 Prof.	木Thu・3&4	A1	10/8 受講希望者は、事前に教室事務まで連絡してください。(内線23508) If you would like to attend, please contact to Ext: 23508	2 医学部5号館210号室 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room210
41621521	緩和ケア看護学特論 Seminar in Palliative Care Nursing	I	不開講 Not Offered				
41621522	緩和ケア看護学特論 Seminar in Palliative Care Nursing	II	不開講 Not Offered				
41621531	母性看護学・助産学特論 Special Lecture in Midwifery and Women's Health	I 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	月/Mon・3&4	S1・S2	4/6	2 母性看護学・助産学分野講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41621532	母性看護学・助産学特論 Special Lecture in Midwifery and Women's Health	II 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	集中	9/3	2 母性看護学・助産学分野講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41621541	精神看護学特論 Special Lecture in Psychiatric Nursing	I 西 大輔 NISHI Daisuke	教授 Prof.	火2	S1・S2	4/7	2 医学部3号館3F S308 Faculty of Medicine Bldg. 3, S308
41621542	精神看護学特論 Special Lecture in Psychiatric Nursing	II 宮本 有紀 MIYAMOTO Yuki	准教授 Assoc. Prof.	火・1&2	A1	10/6 初回のみ10:30開始 Start at 10:30 for the first time only	2 医学部3号館3F S308 Faculty of Medicine Bldg. 3, S308
41621551	老年看護学特論 Special Lecture in Gerontological Nursing	I 仲上 豪二朗 NAKAGAMI Gojiro	教授 Prof.	月Mon・3&4	S1	4/6	2 医学部5号館301 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room301
41621552	老年看護学特論 Special Lecture in Gerontological Nursing	II 仲上 豪二朗 NAKAGAMI Gojiro	教授 Prof.	月Mon・5&6	A2	12/7	2 医学部5号館301 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room301
41621561	創傷看護学特論 Special Lecture in Wound Care Management	I 仲上 豪二朗 NAKAGAMI Gojiro	教授 Prof.	月Mon・3&4	S2	6/8	2 医学部5号館301 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room301
41621562	創傷看護学特論 Special Lecture in Wound Care Management	II 仲上 豪二朗 NAKAGAMI Gojiro	教授 Prof.	月Mon・5&6	A1	10/5	2 医学部5号館301 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room301

2026年度健康科学・看護学専攻講義科目一覧
AY2026 School of Health Sciences and Nursing Course List

科目番号 Course Code	科目名 Course	担当教員 Instructor	曜日・時間 Day・Period	ターム Term	開始日・その他連絡事項 Start Date	単位 Credits	講義室 Classroom
41621611	保健医療情報学特論 Special Lecture in Health Informatics	I 河添 悦昌 KAWAZOE Yoshimasa	教授 Prof.	木Thu・3	S1・S2	4/9 履修希望者は前もって窓口:kawazoe-office@adm.h.u-tokyo.ac.jpあてに連絡すること。If you would like to attend, please Email: kawazoe-office@adm.h.u-tokyo.ac.jp	2 附属病院管理研究棟4F 企画情報運営部 会議室 Administration Bldg. 4F, Department of Healthcare Information Management, Conference Room
41621612	保健医療情報学特論 Special Lecture in Health Informatics	II 河添 悦昌 KAWAZOE Yoshimasa	教授 Prof.	木Thu・3	A1・A2	10/8 履修希望者は前もって窓口:kawazoe-office@adm.h.u-tokyo.ac.jpあてに連絡すること。If you would like to attend, please Email: kawazoe-office@adm.h.u-tokyo.ac.jp	2 附属病院管理研究棟4F 企画情報運営部 会議室 Administration Bldg. 4F, Department of Healthcare Information Management, Conference Room
41621721	医療コミュニケーション学特論 Special Lecture in Health Communication	I 木内 貴弘 KIUCHI Takahiro 奥原 剛 OKUHARA Tsuyoshi	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	火Tue・3&4	S1	4/7	2 教育研究棟13F 公共健康医学専攻講義室 Experimental Research Bldg. 13F, SPH Lecture Room
41621722	医療コミュニケーション学特論 Special Lecture in Health Communication	II 木内 貴弘 KIUCHI Takahiro 奥原 剛 OKUHARA Tsuyoshi	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	水Wed・3&4	S2	6/10	2 教育研究棟13F 公共健康医学専攻講義室 Experimental Research Bldg. 13F, SPH Lecture Room
41621911	放射線健康科学特論 Special Lecture in Radiological Health Sciences	I		不開講 Not Offered			
41621912	放射線健康科学特論 Special Lecture in Radiological Health Sciences	II		不開講 Not Offered			

※「特論」履修について

修士課程修了にあたっては、4専攻分野から8単位以上「特論」を履修する必要があります。

ただし指導教員の指示により「国際保健学専攻」の特論または「公共健康医学専攻」の講義を「健康科学・看護学専攻」の特論とみなすこともできます。

Earn 8 credits or more from Special Lectures in any of the 4 majors. Note, however, that Special Lectures in International Health and Lectures in the School of Public Health may be approved for recognition as Special Lectures in Health Sciences and Nursing by your research supervisor.

各科目の開始日や教室など詳細はUTAS(<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>)のシラバスにより確認すること。

Check the UTAS syllabus(https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en_US) for details such as the start date and classroom of each course.

2026年度保健師教育コース・助産師教育コース講義科目一覧
AY2026 Programs in Public Health Nursing and Midwifery Course List

健康科学・看護学専攻(保健師教育コース) Programs in Public Health Nursing

科目番号 Course Code	科目名 Course	担当教員 Instructor	曜日・時限 Day・Period	ターム Term	開始日 Start Date	必修・選択		単位数 Credits			講義室 Classroom	
						必修 compulsory	選択 elective	講義 Lecture	演習 Seminar	実習 Practice		
41642111	公衆衛生看護学 I Public Health Nursing I	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	火Tue・3 & 4	S1	4/7	○		2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642112	公衆衛生看護学 II Public Health Nursing II	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	水Wed・1 & 2	S2	6/3	○		2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642116	公衆衛生看護学 III Public Health Nursing III	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	6/3	○		2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642125	公衆衛生看護学 IV Public Health Nursing IV	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	不定期	A1・A2	10/8	○		2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642127	公衆衛生看護学 V Public Health Nursing V	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	不定期	通年 Full-Year			○	2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642128	公衆衛生看護学 VI Public Health Nursing VI	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	不定期	通年 Full-Year			○	2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642113	支援技術論 I Skills for Public Health Nursing I	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	木Thu・3 & 4	S2	6/4	○		2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642114	支援技術論 II Skills for Public Health Nursing II	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	1～5	夏季集中 Summer Intensive	7/6	○		2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642115	行政看護学 Public Health Nursing	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	水Wed・1 & 2	S2・A1	9/2	○		2			医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642126	助産学 VI Midwifery VI	春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	4/15	○		2			母性看護学・助産学分野講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41642117	公衆衛生看護学実習 I Practice in Public Health Nursing I	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.		通年 Full-Year		○				1	医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642118	公衆衛生看護学実習 II Practice in Public Health Nursing II	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.		A1・A2	11/16	○				4	医学部5号館地域看護学演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41642119	予防保健の実践と評価 Practice and Assessment in Public Health	村上 健太郎 MURAKAMI Kentaro	教授 Prof.	2～4	夏季集中 Summer Intensive			○	2			医学部教育研究棟第6セミナー室 Seminar room 6, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg.
41642120	社会と健康 I Society and Health I	鎌田 真光 KAMADA Masamitsu	准教授 Assoc. Prof.	木Thu・1 & 2	A1	10/8		○	2			SPH講義室 SPH Lecture Room
41642121	疫学研究と実践 Epidemiological Research and Practice	村上 健太郎 MURAKAMI Kentaro	教授 Prof.	金Fri 2	S1・S2	4/10		○	2			医学部教育研究棟第6セミナー室 Seminar room 6, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg.
41642122	医学データの統計解析 Statistics Analysis of Medical Data	松山 裕 MATSUYAMA Yutaka	教授 Prof.	木Thu・3 & 4	S1	4/9		○	2			医学部教育研究棟第6セミナー室 Seminar room 6, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg.
41642123	健康危機管理学 Public Health Preparedness	東 尚弘 HIGASHI Takahiro	教授 Prof.	火Tue・3 & 4	A2	12/8		○	1			SPH講義室 SPH Lecture Room
41642124	健康医療政策学 Health Policy	東 尚弘 HIGASHI Takahiro	教授 Prof.	月Mon・2 一部1限も併用の可能性あり	S1・S2	4/6		○	2			SPH講義室 SPH Lecture Room

2026年度保健師教育コース・助産師教育コース講義科目一覧
AY2026 Programs in Public Health Nursing and Midwifery Course List

健康科学・看護学専攻（助産師教育コース） Programs in Midwifery

科目番号 Course Code	科目名 Course	担当教員 Instructor	曜日・時限 Day・Period	ターム Term	開始日 Start Date	必修・選択			単位数 Credits			講義室 Classroom
						必修 compulsory	選択 elective		講義 Lecture	演習 Seminar	実習 Practice	
41643111	助産学 Midwifery	I 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	4/2	○		2			母性看護学・助産学分野 講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41643112	助産学 Midwifery	II 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	S1・S2	5/27	○		2			母性看護学・助産学分野 講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41643113	助産学 Midwifery	III 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	S1・S2	5/14	○		2			母性看護学・助産学分野 講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41643114	助産学 Midwifery	IV 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	S1・S2	4/8	○		2			母性看護学・助産学分野 講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41643115	助産学 Midwifery	V 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	S1・S2	5/6	○		2			母性看護学・助産学分野 講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41643116	助産学 Midwifery	VI 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	4/15	○		2			母性看護学・助産学分野 講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41643125	助産学 Midwifery	VII 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	4/2	○		2			母性看護学・助産学分野 講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41643126	助産学 Midwifery	VIII 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	4/2	○		2			母性看護学・助産学分野 講義室 Midwifery and Women's health Lecture Room
41643124	支援技術論 Skills for Public Health Nursing	II 吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	准教授 Assoc. Prof.	1～5	夏季集中 Summer Intensive	7/6	○		2			医学部5号館地域看護学 演習室112 Faculty of Medicine Bldg. 5, Room112
41643118	助産学実践実習 Practice in Midwifery	I 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	10/19	○				2	助産院・病院での臨地実習 ※助産師教育コースの学生 を対象とする On-site training at a maternity home / hospital * For students of the midwifery education course
41643119	助産学実践実習 Practice in Midwifery	II 春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	7/21	○				8	助産院・病院での臨地実習 ※助産師教育コースの学生 を対象とする On-site training at a maternity home / hospital * For students of the midwifery education course
41643117	助産学管理実習 Practice in Midwifery Administration	春名 めぐみ HARUNA Megumi	教授 Prof.	不定期 Irregular	通年 Full-Year	6/10	○				1	助産院・病院での臨地実習 ※助産師教育コースの学生 を対象とする On-site training at a maternity home / hospital * For students of the midwifery education course
41643127	疫学研究と実践 Epidemiological Research and Practice	村上 健太郎 MURAKAMI Kentaro	教授 Prof.	金Fri 2	S1・S2	4/10	○		2			医学部教育研究棟第6セ ミナー室 Seminar room 6, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg.
41643120	予防保健の実践と評 価 Practice and Assessment in Public Health	村上 健太郎 MURAKAMI Kentaro	教授 Prof.	2～4	夏季集中 Summer Intensive			○	2			医学部教育研究棟第6セ ミナー室 Seminar room 6, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg.
4163123	医療コミュニケーション 学 Health Communication	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro 奥原 剛 OKUHARA Tsuuyoshi	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	火Tue・3&4	S1	4/7	○		2			SPH講義室 SPH Lecture Room
41643122	医療倫理学 Biomedical Ethics	I 中澤 栄輔 NAKAZAWA Eisuke	教授 Prof.	火Tue・1&2	S1	4/7	○		2			SPH講義室 SPH Lecture Room

各科目の開始日や教室など詳細はUTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>) のシラバスにより確認すること。
Check the UTAS syllabus (https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en_US) for details such as the start date and classroom of each course.

2026年度国際保健学専攻講義科目一覧
AY2026 School of International Health Course List

科目番号 Course Code	科目名 Course	担当教員 Instructor	曜日・時間 Day・Period	ターム Term	開始日・その他連絡事項 Start Date	単位 Credits	講義室 Classroom
41622111	国際保健政策学特論 Special Lecture in Global Health Policy	橋爪 真弘 教授 HASHIZUME Prof. Masahiro Chris Fook 准教授 Sheng Ng Assoc. Prof.	火Tue・3	S1・S2	4/7	2	医学部3号館N507 Faculty of Medicine Bldg.3, N507 or online class
41622112	国際保健政策学特論 Special Lecture in Global Health Policy	橋爪 真弘 教授 HASHIZUME Prof. Masahiro Chris Fook 准教授 Sheng Ng Assoc. Prof.	火Tue・3	A1・A2	10/6	2	医学部3号館N507 Faculty of Medicine Bldg.3, N507 or online class
41622121	国際地域保健学特論 Special Lecture in Community and Global Health	古澤 拓郎 教授 FURUSAWA Prof. Takuro 柴沼 晃 講師 SHIBANUMA Lecturer Akira	金Fri・3&4	S1・S2	I : 4/17 II : 10/2	2	対面/オンライン併用 医学部3号館S102(変更の可 可能性有り) 受講希望者は、柴沼晃 (shibanuma@m.u- tokyo.ac.jp)、桐谷純子 (jkiriya@m.u-tokyo.ac.jp)ま で連絡をお願いします。 In-person class and Online class combination. Faculty of Medicine Bldg.3, S102 Please contact Akira Shibanuma (shibanuma@m.u- tokyo.ac.jp) and Junko Kiriya (jkiriya@m.u-tokyo.ac.jp) if you are interested in participating in the course before the course registration.
41622122	国際地域保健学特論 Special Lecture in Community and Global Health	古澤 拓郎 教授 FURUSAWA Prof. Takuro 柴沼 晃 講師 SHIBANUMA Lecturer Akira	金Fri・3&4	A1・A2		2	
41622211	人類遺伝学特論 Special Lecture in Human Genetics	藤本 明洋 教授 FUJIMOTO Prof. Akihiro	水Wed・5	S1・S2	4/8	2	オンラインの予定だが 対面の場合はCRC棟 656 Scheduled to be onlineclass, but in the case of in-person class, CRC building 656
41622212	人類遺伝学特論 Special Lecture in Human Genetics	藤本 明洋 教授 FUJIMOTO Prof. Akihiro	水Wed・5	A1・A2	10/7	2	オンラインの予定だが 対面の場合はCRC棟 656 Scheduled to be onlineclass, but in the case of in-person class, CRC building 656
41622221	発達医学特論 Special Lecture in Developmental Medical Sciences	Moi Meng Ling 教授 Prof.	月Mon・3&4	S1	I : 4/6 II : 10/5 事前に受講希望の連絡 (sherry@m.u-tokyo.ac.jp)が必要 です。 スケジュール、講義場所につい て掲示に注意して下さい。 Please contact Prof Moi (sherry@m.u-tokyo.ac.jp) in advance for course participation. Refer to bulletin board for schedule and further details.	2	医学部3号館:S106(会 議室)またはオンライン Faculty of Medicine Bldg.3, S106 or Online class
41622222	発達医学特論 Special Lecture in Developmental Medical Sciences	Moi Meng Ling 教授 Prof.	木Thu・2	A1・A2		2	医学部3号館:N302 (発達医学集会所) またはオンライン Faculty of Medicine Bldg.3, N302 or Online class

2026年度国際保健学専攻講義科目一覧
AY2026 School of International Health Course List

科目番号 Course Code	科目名 Course	担当教員 Instructor	曜日・時間 Day・Period	ターム Term	開始日・その他連絡事項 Start Date	単位 Credits	講義室 Classroom
41622231	人類生態学特論 Special Lecture in Human Ecology	梅崎 昌裕 UMEZAKI Masahiro 小西 祥子 KONISHI Shoko 教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	金Fri・1&2	S1	I : 4/17	2	医学部3号館別棟 E604 Faculty of Medicine Annex of Bldg.3, E604
41622232	人類生態学特論 Special Lecture in Human Ecology	梅崎 昌裕 UMEZAKI Masahiro 教授 Prof.	水Wed・3&4	A1	II : 10/7	2	医学部3号館別棟 E604 Faculty of Medicine Annex of Bldg.3, E604
41622241	生物医化学特論 Special Lecture in Biomedical Chemistry	野崎 智義 NOZAKI Tomoyoshi 教授 Prof.	原則隔週、 曜日は不定期	S1	I : 4月上旬 Early April II : 10月下旬 Late October 受講希望者は野崎教授 (nozaki@m.u-tokyo.ac.jp)まで連 絡すること(S1ターム科目: 4/3ま で、A1・A2ターム科目: 10/2ま で)	2	未定 TBD
41622242	生物医化学特論 Special Lecture in Biomedical Chemistry	野崎 智義 NOZAKI Tomoyoshi 教授 Prof.	原則隔週、 曜日は不定期	A1・A2	If you would like to attend, please Email nozaki@m.u- tokyo.ac.jp by 3 April for I, by 2 October for II.	2	未定 TBD
41622311	国際疫学特論		不開講 Not Offered				
41622312	国際疫学特論		不開講 Not Offered				
41622411	熱帯病学特論 Special Lecture in Tropical Infectious Diseases	野崎 智義 NOZAKI Tomoyoshi 教授 Prof.	集中 Intensive	S1	受講希望者は野崎教授 (nozaki@m.u-tokyo.ac.jp)まで連 絡すること(S1ターム科目: 4/3ま で、A1・A2ターム科目: 10/2ま で)	2	未定 TBD
41622412	熱帯病学特論 Special Lecture in Tropical Infectious Diseases	野崎 智義 NOZAKI Tomoyoshi 教授 Prof.	集中 Intensive	A1・A2	If you would like to attend, please Email nozaki@m.u- tokyo.ac.jp by 3 April for I, by 2 October for II.	2	未定 TBD
41622511	国際環境医学特論 Special Lecture in International Environmental Medicine		不開講 Not Offered				
41622512	国際環境医学特論 Special Lecture in International Environmental Medicine		不開講 Not Offered				
41622611	医学教育国際協力学 特論 Special Lecture in International Cooperation for Medical Education	大西 弘高 ONISHI Hiroataka 講師 Lecturer	水Wed・1&2	S1	I : 4/8 II : 10/7 Lectures are offered all in English. Those who would like to attend the class from outside of Department of International Cooperation for Medical Education, please send an e-mail to oonishihh@gmail.com beforehand.	2	医学教育国際研究セン ターM1室(医学図書館 3F) International Research Center for Medical Education Room M1 (Medical Library 3F)
41622612	医学教育国際協力学 特論 Special Lecture in International Cooperation for Medical Education	大西 弘高 ONISHI Hiroataka 講師 Lecturer	水Wed・1&2	A1		2	医学教育国際研究セン ターM1室(医学図書館 3F) International Research Center for Medical Education Room M1 (Medical Library 3F)

2026年度国際保健学専攻講義科目一覧
AY2026 School of International Health Course List

科目番号 Course Code	科目名 Course	担当教員 Instructor	曜日・時間 Day・Period	ターム Term	開始日・その他連絡事項 Start Date	単位 Credits	講義室 Classroom
41622251	国際環境保健学特論 I Special Lecture in Global Environmental Health I	KIM Yoonhee 准教授 Assoc. Prof.	金Fri・5	S1・S2	4/10	2	医学部教育研究棟 公共健康医学専攻講義室 SPH Lecture Room, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg.
41622252	国際環境保健学特論 II Special Lecture in Global Environmental Health II	KIM Yoonhee 准教授 Assoc. Prof.	木Thu・5	A1・A2	10/8	2	医学部教育研究棟 公共健康医学専攻講義室 SPH Lecture Room, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg.

各科目の開始日や教室など詳細はUTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>) のシラバスにより確認すること。
Check the UTAS syllabus (https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en_US) for details such as the start date and classroom of each course.

2026年度公共健康医学専攻開講科目一覧
AY2026 School of Public Health Course List

科目番号	授 業 科 目	単 位	ターム	曜日	時限等	担当教員	
41618111	疫学研究と実践 Epidemiological Research and Practice	2	S1・S2	金 Fri	2 第6ㄷ	村上 健太郎 MURAKAMI Kentaro	教授 Prof.
41618112	予防保健の実践と評価 Practice and Assessment in Public Health	2	夏季 Summer	集中 Inten sive	2~4	村上 健太郎 MURAKAMI Kentaro	教授 Prof.
41618113	医学データの統計解析 Statistics Analysis of Medical Data	2	S1	木 Thu	3・4 第6ㄷ	松山 裕 MATSUYAMA	教授 Prof.
41618114	医学統計学演習 Practicum in Medical Statistics	2	S2	木 Thu	3・4	篠崎 智大 SHINOZAKI Tomohiro	准教授 Assoc. prof
41618115	医学研究のデザイン Design of Medical Research	2	S2	火 Tue	3・4	松山 裕 MATSUYAMA	教授 Prof.
41618116	臨床疫学 Clinical Epidemiology	2	S2	水 Wed	1・2 第6ㄷ	康永 秀生 YASUNAGA Hideo	教授 Prof.
41618117	臨床疫学・経済学演習 Clinical Epidemiology Exercise	2	A1・A2	木 Thu	3・4	康永 秀生 YASUNAGA Hideo	教授 Prof.
41618118	保健医療経済学 Health Economics	2	S1	水 Wed	1・2	康永 秀生 YASUNAGA Hideo	教授 Prof.
41618120	医療コミュニケーション学 Health Communication	2	S1	火 Tue	3・4	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro	教授 Prof.
41618122	医療コミュニケーション学演習 Health Communication Practice	2	S2	水 Wed	3・4	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro	教授 Prof.
41618124	医療技術評価学演習 Seminar in Healthcare Technology Assessment	1	A2	木 Thu	2	康永 秀生 YASUNAGA Hideo	教授 Prof.
41618126	臨床医学概論 Overview on Clinical Medicine	1	S1	木 Thu	2	康永 秀生 YASUNAGA Hideo	教授 Prof.
41618127	医学研究データマネジメントとCDISC標準 Medical research data management and CDISC standards	1	A1	火 Tue	3	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro	教授 Prof.
41618128	がん疫学 Cancer Epidemiology	1	A1	水 Wed	3	鵜飼 知嵩 UGAI Tomotaka 専攻長 Head of Department	連携教授 Partner
41618131	医療系学部出身者のための人文社会科学入門 I Introduction of Humanities and Social Science for Medical University Graduates I	1	A1	火 Tue	4	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro	教授 Prof.
41618132	医療系学部出身者のための人文社会科学入門 II Introduction of Humanities and Social Science for Medical University Graduates II	1	A2	木 Thr	1	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro	教授 Prof.
41618211	精神保健学 I Mental Health I	2	S1・S2	火 Tue	5	西 大輔 NISHI Daisuke	教授 Prof.
41618212	精神保健学 II Mental Health II	2	A1・A2	火 Tue	5	西 大輔 NISHI Daisuke	教授 Prof.
41618213	健康教育学 Health Education	2	A2	金 Fri	1・2	橋本 英樹 HASHIMOTO Hideki	教授 Prof.
41618214	健康社会学 Health Sociology	2	A1	金 Fri	1・2	村上 慶子 MURAKAMI Keiko	准教授 Assoc. prof
41618218	医療倫理学 I Biomedical Ethics I	2	S1	火 Tue	1・2	中澤 栄輔 NAKAZAWA Eisuke	教授 Prof.
41618219	医療倫理学 II Biomedical Ethics II	2	S2	火 Tue	1・2	中澤 栄輔 NAKAZAWA Eisuke	教授 Prof.
41618220	社会と健康 I Society and Health I	2	A1	木 Thu	1・2	鎌田 真光 KAMADA Masamitsu	准教授 Assoc. prof
41618221	社会と健康 II Society and Health II	2	A2	金 Fri	3・4	鎌田 真光 KAMADA Masamitsu	准教授 Assoc. prof

科目番号	授業科目	単位	ターム	曜日	時限等	担当教員	
41618222	産業保健の理論と実践 Occupational Health: Theory and Practice	2	A1	水 Wed	1・2	黒田 玲子 KURODA Reiko 専攻長 Head of Department	准教授 Assoc. prof
41618311	健康医療政策学 Health Policy	2	S1・S2	月 Mon	2	東 尚弘 HIGASHI Takahiro	教授 Prof.
41618316	法医学・医事法学 Forensic Medicine and Medical Law	2	S1・S2	月 Mon	3	槇野 陽介 MAKINO Yosuke	教授 Prof.
41618320	健康危機管理学 Public Health Preparedness	1	A2	火 Tue	3・4	東 尚弘 HIGASHI Takahiro	教授 Prof.
41618321	保健行政・健康危機管理学実習 Health Administration & Public Health Preparedness Exercise	2	夏季 Summer	集中 Inten sive		東 尚弘 HIGASHI Takahiro	教授 Prof.
41618312	医療情報システム学 Healthcare Informatics	2	S1	金 Fri	3・4	河添 悦昌 KAWAZOE Yoshimasa	教授 Prof.
41618313	医療情報システム学実習 Practice in Healthcare Informatics	1	S2	木 Thu	1・2	河添 悦昌 KAWAZOE Yoshimasa	教授 Prof.
41618323	公共健康情報学 Public health informatics	2	S2	金 Fri	3・4	脇 嘉代 WAKI Kayo	教授 Prof.
41618324	公共健康情報学演習 Seminar in Public health informatics	2	A1	金 Fri	3・4	脇 嘉代 WAKI Kayo	教授 Prof.
41618334	Intermediate Epidemiology	1	A1	月 Mon	2	稲田 晴彦 INADA Haruhiko	准教授 Assoc. prof
41618322	Environmental Health 環境健康医学	2	S1・S2	金 Fri	5	KIM Yoonhee	准教授 Assoc. prof
41618330	Methods for Environmental Health Research 環境健康医学研究方法論	2	A1・A2	木 Thu	5	KIM Yoonhee	准教授 Assoc. prof
41618411	インターンシップ Internship	2	夏季・A1・W			専攻長 Head of Department	
41618511	公共健康医学特論 Special Lecture in Public Health	2	S1	月 Mon	4・5	専攻長 Head of Department	
41618611	課題研究 Independent Study	6	通年 Full-Year			各指導教員 Supervisor	
41618326	社会保障政策(政策の理論と展開) Social Security Policy	2	A1・A2	金 Fri	5	鈴木 俊彦 SUZUKI Toshihiko	客員教授 Visiting Prof.

*以下の講義は休講とする

Following courses aren't offered in AY 2026.

- ・「日本の医療と地域保健 Health Care and Community Health in Japan」
- ・「Comparative Healthcare Systems in Asia アジア諸国における比較医療制度論」
- ・「医療経営学演習 Seminar in Healthcare Organization Management」
- ・「保健医療人材育成学 Human Resource Development for Health」
- ・「プライマリヘルスケア学 Primary Health Care」

*「社会保障政策（政策の理論と展開）」：公共政策学教育部との合併科目

2026年度医学共通科目開講科目一覧
AY2026 General Lectures in Medical Sciences Course List

科目番号 Course Code	授 業 科 目 Course	単位 Credits	ターム Term	曜日 Day	時限 Period	開始日 Start Date	講義室 Classroom	担 当 教 員 Instructor	担当専攻等 Department	
41611101	医学共通講義 I General Lecture in Medical Sciences I 分子細胞生物学入門	2	S1・A1 Aターム	火 Tue	2	4/7	⑥	吉川 雅英 KIKKAWA Masahide 岡田 随象 OKADA Yukinori	教授 Prof. 教授 Prof.	分子細胞 Molecular Cell Biology
変更検討中We are currently considering changes										
41611102	医学共通講義 II General Lecture in Medical Sciences II 分子生物学実験法	2						不開講 Not Offered		分子細胞 Molecular Cell Biology
41611103	医学共通講義 III General Lecture in Medical Sciences III 機能生物学入門	2	通年 Full- Year	月 Mon	4	4/27	⑥	大木 研一 OHKI Kenichi	教授 Prof.	機能生物 Functional Biology
41611104	医学共通講義 IV General Lecture in Medical Sciences IV 感染・免疫・腫瘍学(I) —分子から疾病まで—	2	S1・A1	火 Tue	4	4/7	⑤	山田泰広 YAMADA Yasuhiro 竹田誠 TAKEDA Makoto 加藤 大志 KATO Hiroshi	教授 Prof. 教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	病因・病理 Pathology, Immunology and Microbiology
41611105	医学共通講義 V General Lecture in Medical Sciences V 感染・免疫・腫瘍学(II) —分子から疾病まで—	2	A2・W	火 Tue	4	12/8	⑥	高柳 広 TAKAYANAGI Hiroshi 牛久 哲男 USHIKU Tetsuo 堤 武也 TSUTSUMI Takeya	教授 Prof. 教授 Prof. 教授 Prof.	病因・病理 Pathology, Immunology and Microbiology
41611106	医学共通講義 VI General Lecture in Medical Sciences VI 医用生体工学入門	2	S1・A1	火 Tue	3	4/7	⑤	浦野 泰照 URANO Yasuteru 織田 克利 ODA Katsutoshi 山本 希美子 YAMAMOTO Kimiko 原田 香奈子 HARADA Kanako	教授 Prof. 教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof. 教授 Prof.	生体物理 Radiology and Biomedical Engineering
41611107	医学共通講義 VII General Lecture in Medical Sciences VII 神経科学入門	2	S1・A1	火 Tue	4	4/7	⑥	尾藤 晴彦 BITO Haruhiko 齊藤 貴志 SAITO Takashi 小池 進介 KOIKE Shinsuke	教授 Prof. 教授 Prof. 教授 Prof.	脳神経 Neurosciences
41611108	医学共通講義 VIII General Lecture in Medical Sciences VIII 内科学入門	2	A1・A2	火 Tue	3	10/6	④	藤尾 圭志 FUJIO Keishi	教授 Prof.	内科 Internal Medicine
41611109	医学共通講義 IX General Lecture in Medical Sciences IX 生殖・発達・加齢医学入門	2	A1A2・W	火 Tue	5	12/8	⑥/Online Class	加藤 元博 KATO Motohiro 藤代 準 FUJISHIRO Jun	教授 Prof. 教授 Prof.	生殖・発達 Reproductive Developmental and Aging Science
41611110	医学共通講義 X General Lecture in Medical Sciences X 医学統計学入門	2	A2・W	火 Tue	2	12/8	Online Class	篠崎智大ほか SHINOZAKI Tomohiro	准教授 Assoc. Prof.	公共健康 SPH
41611121	医学共通講義 XX I General Lecture in Medical Sciences XX I アジアのがんUHC Universal Health Coverage for Cancer in Asia	2	S1・S2	水 Wed	5	4/8	⑤	石川 俊平 ISHIKAWA Shumpei	教授 Prof.	社会 Social Medicine

2026年度医学共通科目開講科目一覧
 AY2026 General Lectures in Medical Sciences Course List

科目番号 Course Code	授業科目 Course	単位 Credits	ターム Term	曜日 Day	時限 Period	開始日 Start Date	講義室 Classroom	担当教員 Instructor	担当専攻等 Department	
41611122	医学共通講義 XXII General Lecture in Medical Sciences XXII 医学・生物学の哲学入門	2	S2	月 Mon	3,4	6/8	⑤	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro	教授 Prof.	社会 Social Medicine
41611131	医学共通講義 XXXI General Lecture in Medical Sciences XXXI 医工学概論	2	A1・A2	金 Fri	2 10:25 12:10	10/2 予定 schedul ed	工学部5号館 56号講義室 Faculty of Engineering Bldg.5, 56Hall/Onlin e Class	鄭 雄一 Chung Ungil 片島 拓弥 KATASHIMA Takuya	教授 Prof. 講師 Lect.	工学系 School of Engineering
41611132	医学共通講義 XXXII General Lecture in Medical Sciences XXXII Epidemiology for Health Research	2	S1・S2	木 Thu	3・4	4/9	⑦/Online Class	橘爪 真弘 HASHIZUME Masahiro クリスウン フック シェン CHRIS NG FOOK SHENG 柴沼 晃 SHIBANUMA Akira	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof. 講師 Lecturer	国際保健 International Health
41611133	医学共通講義 XXXIII General Lecture in Medical Sciences XXXIII 医療・看護・保健分野における情報技術	2						不開講 Not Offered		公共健康 SPH
41611135	医学共通講義 XXXV General Lecture in Medical Sciences XXXV 放射線生物学 Radiation Biology	2	S1	水 Wed	1・2	4/15	オンライン	細谷 紀子 HOSOYA Noriko	准教授 Assoc. Prof.	生体物理 Radiology and Biomedical Engineering ※工学系との 合併科目
41611138	医学共通講義 XXXVIII General Lecture in Medical Sciences XXXVIII 臨床疫学	2	S2	水 Wed	1・2	6/10	⑥	康永 秀生 YASUNAGA Hideo	教授 Prof.	公共健康 SPH
41611140	医学共通講義 XL General Lecture in Medical Sciences XL Global Health Live	2						不開講 Not Offered		国際保健 International Health
41611141	医学共通講義 XLI General Lecture in Medical Sciences XLI Presenting Your Research in English	2						不開講 Not Offered		国際交流室 OIAA
41611142	医学共通講義 XLII General Lecture in Medical Sciences XLII 環境健康医学 Environmental Health	2	S1・S2	金 Fri	5	4/10	SPH	KIM Yoonhee	准教授 Assoc. Prof.	公共健康 SPH
41611143	医学共通講義 XLIII General Lecture in Medical Sciences XLIII UTokyo Nursing Spring International Program	2	W	集中 Inten sive	1~4	3/8	⑥	山本 則子 YAMAMOTO Noriko 池田 真理 IKEDA Mari 春名 めぐみ HARUNA Megumi 仲上 豪二朗 NAKAGAMI Gojiro	教授 Prof.	健康・看護 Health Sciences and Nursing
41611144	医学共通講義 XLIV General Lecture in Medical Sciences XLIV 健康医療政策学 Health Policy	2	S1・S2	月 Mon	2	4/6	SPH	東 尚弘ほか HIGASHI Takahiro	教授 Prof.	公共健康 SPH
41611145	医学共通講義 XLV General Lecture in Medical Sciences XLV 健康危機管理学 Public Health Preparedness	1	A2	火 Tue	3・4	12/8	SPH	東 尚弘ほか HIGASHI Takahiro	教授 Prof.	公共健康 SPH
41611146	医学共通講義 XLVI General Lecture in Medical Sciences XLVI Intermediate Epidemiology	1	A1	月 Mon	2	10/5	SPH	稲田 晴彦 INADA Haruhiko 柴沼 晃 SHIBANUMA Akira	准教授 Assoc. Prof. 講師 Lecturer	公共健康 SPH
41611147	医学共通講義 XLVII General Lecture in Medical Sciences XLVII Statistics for Health Research	2	S1・S2	木 Thu	3・4	4/16	⑦/Online Class	クリスウン フック シェン CHRIS NG FOOK SHENG 柴沼 晃 SHIBANUMA Akira 橘爪 真弘 HASHIZUME Masahiro	准教授 Assoc. Prof.	国際保健 International Health

2026年度医学共通科目開講科目一覧
AY2026 General Lectures in Medical Sciences Course List

科目番号 Course Code	授業科目 Course	単位 Credits	ターム Term	曜日 Day	時限 Period	開始日 Start Date	講義室 Classroom	担当教員 Instructor	担当専攻等 Department	
41611148	医学共通講義 XLVIII General Lecture in Medical Sciences XLVIII Commercial and Social Determinants of Health: Understanding the Forces Shaping Population Health	2	A2/W	木 Thu	3	12/8	TBD	名西恵子 NANISHI Keiko	講師 Lecturer	国際保健 International Health
41611201	医学集中実習 I Intensive Laboratory Course in Medical Sciences I 分子細胞生物学入門	2						不開講 Not Offered		分子細胞 Molecular Cell Biology
41611202	医学集中実習 II Intensive Laboratory Course in Medical Sciences II 分子生物学実習	2						不開講 Not Offered		分子細胞 Molecular Cell Biology
41611203	医学集中実習 III Intensive Laboratory Course in Medical Sciences III 高次機能生理学	2	A2・W	集中 Inten sive		1/12 予定 schedul ed	教育研究棟 7階 統合生 理学教室 Experimental Research Bldg. 7F Integrated Physiology Class	大木 研一 OHKI Kenichi	教授 Prof.	機能生物 Functional Biology
41611206	医学集中実習 VI Intensive Laboratory Course in Medical Sciences VI 緩和医療学	2	通年 Full- Year	木 Thu	1	4/16	附属病院 入院棟B棟1 F緩和ケ ア診療部 Inpatient Bldg.B 1F	住谷 昌彦 SUMITANI Masahiko	准教授 Assoc. Prof.	外科 Surgical Medicine
41611207	医学集中実習 VII Intensive Laboratory Course in Medical Sciences VII マイクロサージャリー	2	通年 Full- Year	木 Thu	3・4	5/14 予定 schedul ed	形成外科 実習室 Plastic surgery Training room	岡崎 睦 OKAZAKI Mutsumi	教授 Prof.	外科 Surgical Science
41611208	医学集中実習 VIII Intensive Laboratory Course in Medical Sciences VIII 硬組織生物学実験法	2	A2・W			応相談 TBD	臨床研究棟 A3階整形外 科実験室 Clinical research Bldg. A 3F Orthopedic laboratory	田中 栄 TANAKA Sakae	教授 Prof.	外科 Surgical Science
41611212	医学集中実習 X II Intensive Laboratory Course in Medical Sciences X II 神経病理・画像・臨床関連	2	通年 Full- Year	月 Mon	4	4/13	附属病院剖 検室 UTokyo hospital Autopsy Room	牛久 哲男 USHIKU Tetsuo	教授 Prof.	病因・病理 Pathology, Immunology and Microbiology
41611213	医学集中実習 X III Intensive Laboratory Course in Medical Sciences X III 組織化学・免疫組織化学・臨床電子顕微鏡学							不開講 Not Offered		病因・病理 Pathology, Immunology and Microbiology
41611214	医学集中実習 XIV Intensive Laboratory Course in Medical Sciences XIV 保健行政・健康危機管理学実習 Health Administration & Public Health Preparedness Exercise	2	S1・S2	集中		9/7 (予定)		東 尚弘ほか HIGASHI Takahiro	教授 Prof.	公共健康 SPH
41611401	医科学特論 I Special Lectures in Medical Sciences I 「癌細胞の可塑性・多様性・免疫環境を標的とした癌研究 のフロンティア」	2	S1・A1	月 Mon	3 13:30 15:15	4/6	Online Class	武川 睦寛 TAKEKAWA Mutsuhiro	教授 Prof.	医科研 IMS

(注意)「医学共通講義」は教育研究棟(新棟)13階セミナー室で火曜日に原則として13回行う。
"General Lectures in Medical Sciences" is basically held 13 times at Seminar Room,13F of the Experimental Reserch Bldg. on Tuesday.

④:2階第4セミナー室 ⑤:13階第5セミナー室 ⑥:13階第6セミナー室 ⑦:第7セミナー室 SPH:13階SPH講義室
④:2F Seminar Room No.4 ⑤:13F Seminar Room No.5 ⑥:13F Seminar Room No.6 ⑦:13F Seminar Room No.7 SPH:13F SPH Lecture Room

各科目の開始日や教室など詳細はUTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>) のシラバスにより確認すること。

Check the UTAS syllabus (https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en_US) for details such as the start date and classroom of each course.

2026年度医学共通科目(がんプロ)開講予定表
AY2026 General Lectures in Medical Sciences-Training Program for Oncology Professional- Course List

科目番号 Course Code	授 業 科 目 Course	単位 Credits	ターム Term	曜日 Day	時限 Period	開始日 Start Date	講義室 Classroom	担 当 教 員 Instructor	担当専攻等 Department	
41611160	医学共通講義 GP General Lecture in Medical Sciences GP 臨床腫瘍学概論	2	S1・A1	火Tue	3	4/7	⑥	黒川 峰夫 KUROKAWA Mineo 石原 聡一郎 ISHIHARA Soichiro	教授 Prof. 教授 Prof.	内科 Internal Medicine 外科 Surgical Medicine
41611163	医学共通講義 GPⅢ General Lecture in Medical Sciences GPⅢ 実践がんゲノム病理学	2	A2・W	木 Thu	5	12/3	中央棟南2階病理部カ ンファレンス室 Central Bldg(South)2F, Pathology Dept.Conference Room	牛久 哲男 USHIKU Tetsuo	教授 Prof.	病因・病理 Pathology, Immunology and Microbiology
41611164	医学共通講義 GPIV General Lecture in Medical Sciences GPIV 放射線治療学概論	2	A2・W	火 Tue	1	12/8	中央診療棟2 地下3階 カンファレンス室 Central Clinical Service Bldg.2 B3F, Conference Room	山下 英臣 YAMASHITA Hideomi	准教授 Assoc. Prof.	生体物理 Radiology and Biomedical Engineering
41611165	医学共通講義 GPV General Lecture in Medical Sciences GPV 医学データの統計解析 Statistics Analysis of Medical Data	2	S1	木 Thu	3・4	4/9	⑥	松山 裕 MATSUYAMA Yutaka	教授 Prof.	公共健康 SPH
41611166	医学共通講義 GPVI General Lecture in Medical Sciences GPVI 医学研究のデザイン Design of Medical Research	2	S2	火 Tue	3・4	6/9	SPH	松山 裕 MATSUYAMA Yutaka	教授 Prof.	公共健康 SPH
41611361	医学年間実習 GP I Laboratory Course in Medical Sciences GPI 臨床腫瘍学研修	8	通年 Full- Year					黒川 峰夫 KUROKAWA Mineo	教授 Prof.	内科 Internal Medicine
41611362	医学年間実習 GP II Laboratory Course in Medical Sciences GPII 放射線治療研修	8	通年 Full- Year					山下 英臣 YAMASHITA Hideomi	准教授 Assoc. Prof.	生体物理 Radiology and Biomedical Engineering
41611363	医学年間実習 GPⅢ Laboratory Course in Medical Sciences GPIII 緩和ケア研修	8	通年 Full- Year					住谷 昌彦 SUMITANI Masahiko	准教授 Assoc. Prof.	外科 Surgical Medicine
41611365	医学年間実習 GPV Laboratory Course in Medical Sciences GPV 放射線物理研修	8	通年 Full- Year					山下 英臣 YAMASHITA Hideomi	准教授 Assoc. Prof.	生体物理 Radiology and Biomedical Engineering

(注意)「医学共通科目(がんプロ)」は、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの履修者を対象とする。

*This course applies to students who take "Training Program for Oncology Professional".

各科目の開始日や教室など詳細はUTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>) のシラバスにより確認すること。

Check the UTAS syllabus (https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en_US) for details such as the start date and classroom of each course.

2026年度生命科学技术国際卓越大学院プログラム開講予定表
 AY2026 World-leading Innovative Graduate Study Program for Life Science and Technology, WINGS-LST Course List

科目番号 Course Code	授業科目 Course	単位 Credits	学期 Term	曜日 Day	時限 Period	開始日 Start Date	講義室 Classroom	担当教員 Instructor	
41681111	生命科学技术国際卓越講義 World-leading Innovative Lectures in Life Science & Technology	2	通年 Full-Year					岡田 随象 教授 OKADA Yukinori	*
41681112	生命科学技术俯瞰講義 Multidisciplinary Lecture Series in Life Science & Technology	2	S	木 Thu	6		オンライン Online Class	岡田 随象 教授 OKADA Yukinori 藤城 光弘 教授 FUJISHIRO Mitsuhiro	*
41681113	生命科学技术社会実装論 WINGS-LST Course on Social Implementation	2	A	月 Mon	4		対面/オンライン併 用 In-person class and Online Class combination	岡田 随象 教授 OKADA Yukinori 山内 敏正 教授 YAMAUCHI Toshimasa	
41681114	生命科学技术実験実習 WINGS-LST Laboratory Practice	2	通年 Full-Year					岡田 随象 教授 OKADA Yukinori 藤尾 圭志 教授 FUJIO Keishi	
41681115	生命科学技术実践演習 WINGS-LST Laboratory Training	2	通年 Full-Year					岡田 随象 教授 OKADA Yukinori 田中 栄 教授 TANAKA Sakae	*
41681116	生命科学技术セミナー WINGS-LST Seminars	1	通年 Full-Year					岡田 随象 教授 OKADA Yukinori 小野 稔 教授 ONO Minoru	*
41681117	生命科学技术特別演習 WINGS-LST Advanced Training	2	通年 Full-Year					各担当教員 Each instructor	

1. 生命科学技术国際卓越大学院の登録者以外は履修できない。

People who are not registered with WINGS-LST are not eligible for this course.

2. 上記授業科目の中から、必修科目2科目を含め、選択科目と合わせ6単位以上を修得すること。

From the above courses, you will need to earn 6 credits or more, including 2 compulsory courses and elective courses.

3. 上記授業科目のほか、プログラムの許可を得て所属研究科以外の別に定める授業科目を修得した場合には、これを上記2. の選択科目としてプログラム修了に要する単位とすることができる。

In addition to the above courses, if you have obtained the permission of the program and have earned a course other than the graduate school to which you belong, it will be recognized as credits required for the completion for the program as an elective course above 2. .

4. 医学系研究科博士課程等の修了単位に算入されないので注意すること。

It will not be recognized as credits required for the completion for the doctoral program of the School of Medical.

5. 平成30年度以前に、以下の各科目を履修し単位を取得した場合は、その単位を本プログラムの指定する各科目の単位と読み替える。

If you have taken each of the following courses and earned credits before 2018, the credits will be accredited as the credits for each course specified by this program.

- ・生命科学技术俯瞰講義(2単位) : ライフサイエンス俯瞰講義、生体医工学俯瞰講義、ライフイノベーション分野俯瞰講義(各2単位)
- ・生命科学技术特別演習(2単位) : ライフサイエンス特別演習、生体医工学特別演習
- ・生命科学技术実験実習(2単位) : ライフサイエンス実験実習、生体医工学実験実習、ライフイノベーション学内実習(各2単位)
- ・生命科学技术実践演習(2単位) : ライフサイエンス実践演習、生体医工学実践演習、ライフイノベーション学外実習(各2単位)
- ・生命科学技术国際卓越講義(2単位) : ライフサイエンス国際卓越講義(2単位)
- ・生命科学技术社会実装論(2単位) : 生体医工学社会実装論、ライフイノベーションリーダー論(各2単位)
- ・生命科学技术セミナー(1単位) : ライフサイエンスセミナー、生体医工学セミナー(各1単位)

6. ただし、* については、「グリーントランスフォーメーションを先導する高度人材育成」プロジェクトの高度スキル養成プログラムとして科目履修を認められた者は、履修を認めることがある。

However, for *, those who are admitted to take courses as an advanced skill training program of the "SPRING-GX" project may be admitted.

2026年度 演習及び実習科目一覧
AY2026 Seminar and Practice Course List

健康科学・看護学専攻 Health Sciences and Nursing

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41621183	健康教育・社会学演習 I Seminar in Health Sociology and Health Education I	不 開 講 Not Offered		通年 Full-Year	4		修士 Master
41621185	健康教育・社会学演習 II Seminar in Health Sociology and Health Education II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621184	健康教育・社会学実習 I Practice in Health Sociology and Health Education I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621186	健康教育・社会学実習 II Practice in Health Sociology and Health Education II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621123	精神保健学演習 I Seminar in Mental Health I	教 授 Prof.	西 大輔 NISHI Daisuke	通年 Full-Year	4		修士 Master
41621124	精神保健学演習 II Seminar in Mental Health II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621125	精神保健学実習 I Practice in Mental Health I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621126	精神保健学実習 II Practice in Mental Health II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621133	疫学・予防保健学演習 I Seminar in Epidemiology and Preventive Health Sciences I	教 授 Prof.	松山 裕 MATSUYAMA Yutaka	通年 Full-Year	4		修士 Master
41621134	疫学・予防保健学演習 II Seminar in Epidemiology and Preventive Health Sciences II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621135	疫学・予防保健学実習 I Practice in Epidemiology and Preventive Health Sciences I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621136	疫学・予防保健学実習 II Practice in Epidemiology and Preventive Health Sciences II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621193	保健社会行動学演習 I Seminar in Health and social behavior I	教 授 Prof.	橋本 英樹 HASHIMOTO Hideki	通年 Full-Year	4		修士 Master
41621195	保健社会行動学演習 II Seminar in SHealth and social behavior II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621194	保健社会行動学実習 I Practice in Health and social behavior I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621196	保健社会行動学実習 II Practice in Health and social behavior II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621163	生物統計学演習 I Seminar in Biostatistics I	教 授 Prof.	松山 裕 MATSUYAMA Yutaka	通年 Full-Year	4		修士 Master
41621164	生物統計学演習 II Seminar in Biostatistics II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621165	生物統計学実習 I Practice in Biostatistics I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621166	生物統計学実習 II Practice in Biostatistics II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621173	医療倫理学演習 I Seminar in Biomedical Ethics I	不 開 講 Not Offered		通年 Full-Year	4		修士 Master
41621174	医療倫理学演習 II Seminar in Biomedical Ethics II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621175	医療倫理学実習 I Practice in Biomedical Ethics I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621176	医療倫理学実習 II Practice in Biomedical Ethics II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41621413	看護体系・機能学演習Ⅰ Seminar in Advanced Clinical Nursing I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621414	看護体系・機能学演習Ⅱ Seminar in Advanced Clinical Nursing II		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621415	看護体系・機能学実習Ⅰ Practice in Advanced Clinical Nursing I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621416	看護体系・機能学実習Ⅱ Practice in Advanced Clinical Nursing II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621423	看護管理学演習Ⅰ Seminar in Nursing Administration I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621424	看護管理学演習Ⅱ Seminar in Nursing Administration II	教授 Prof.	池田 真理 IKEDA Mari	通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621425	看護管理学実習Ⅰ Practice in Nursing Administration I	講師 Lecturer	森田 光治良 MORITA Kojiro	通年 Full-Year		4	修士 Master
41621426	看護管理学実習Ⅱ Practice in Nursing Administration II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621433	家族看護学演習Ⅰ Seminar in Family Nursing I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621434	家族看護学演習Ⅱ Seminar in Family Nursing II	教授 Prof.	池田 真理 IKEDA Mari	通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621435	家族看護学実習Ⅰ Practice in Family Nursing I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621436	家族看護学実習Ⅱ Practice in Family Nursing II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621443	地域看護学・公衆衛生看護学演習Ⅰ Seminar in Community Health Nursing・Public Health Nursing I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621444	地域看護学・公衆衛生看護学演習Ⅱ Seminar in Community Health Nursing・Public Health Nursing II	准教授 Assoc. Prof.	吉岡 京子 YOSHIOKA Kyoko	通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621445	地域看護学・公衆衛生看護学実習Ⅰ Practice in Community Health Nursing・Public Health Nursing I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621446	地域看護学・公衆衛生看護学実習Ⅱ Practice in Community Health Nursing・Public Health Nursing II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621453	行政看護学演習Ⅰ Seminar in Public Health Nursing I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621454	行政看護学演習Ⅱ Seminar in Public Health Nursing II		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621455	行政看護学実習Ⅰ Practice in Public Health Nursing I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621456	行政看護学実習Ⅱ Practice in Public Health Nursing II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621513	高齢者在宅長期ケア看護学演習Ⅰ Seminar in Gerontological Home care and Long-term care Nursing I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621514	高齢者在宅長期ケア看護学演習Ⅱ Seminar in Gerontological Home care and Long-term care Nursing II	教授 Prof.	山本 則子 YAMAMOTO Noriko	通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621515	高齢者在宅長期ケア看護学実習Ⅰ Practice in Gerontological Home care and Long-term care Nursing I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621516	高齢者在宅長期ケア看護学実習Ⅱ Practice in Gerontological Home care and Long-term care Nursing II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor

科目番号 Course Code	授 業 科 目 Course	担 当 教 員 Instructor		学 期 Term	単位数 Credits		備考 Notes	
		職 名 Job Title	氏 名 Name		演 習 Seminar	実 習 Practice		
41621523	緩和ケア看護学演習Ⅰ Seminar in Palliative Care Nursing I	教授 Prof.	山本 則子 YAMAMOTO Noriko	通年 Full-Year	4		修士 Master	
41621524	緩和ケア看護学演習Ⅱ Seminar in Palliative Care Nursing II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor	
41621525	緩和ケア看護学実習Ⅰ Practice in Palliative Care Nursing I						4	修士 Master
41621526	緩和ケア看護学実習Ⅱ Practice in Palliative Care Nursing II						4	博士 Doctor
41621533	母性看護学・助産学演習Ⅰ Seminar in Midwifery and Women's Health I	教授 Prof.	春名 めぐみ HARUNA Megumi	通年 Full-Year	4		修士 Master	
41621534	母性看護学・助産学演習Ⅱ Seminar in Midwifery and Women's Health II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor	
41621535	母性看護学・助産学実習Ⅰ Practice in Midwifery and Women's Health I						4	修士 Master
41621536	母性看護学・助産学実習Ⅱ Practice in Midwifery and Women's Health II						4	博士 Doctor
41621543	精神看護学演習Ⅰ Seminar in Psychiatric Nursing I	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	西 大輔 NISHI Daisuke 宮本 有紀 MIYAMOTO Yuki	通年 Full-Year	4		修士 Master	
41621544	精神看護学演習Ⅱ Seminar in Psychiatric Nursing II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor	
41621545	精神看護学実習Ⅰ Practice in Psychiatric Nursing I						4	修士 Master
41621546	精神看護学実習Ⅱ Practice in Psychiatric Nursing II						4	博士 Doctor
41621553	老年看護学演習Ⅰ Seminar in Gerontological Nursing I	教授 Prof.	仲上 豪二郎 NAKAGAMI Gojoro	通年 Full-Year	4		修士 Master	
41621554	老年看護学演習Ⅱ Seminar in Gerontological Nursing II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor	
41621555	老年看護学実習Ⅰ Practice in Gerontological Nursing I						4	修士 Master
41621556	老年看護学実習Ⅱ Practice in Gerontological Nursing II						4	博士 Doctor
41621563	創傷看護学演習Ⅰ Seminar in Wound Care Nursing I	教授 Prof.	仲上 豪二郎 NAKAGAMI Gojoro	通年 Full-Year	4		修士 Master	
41621564	創傷看護学演習Ⅱ Seminar in Wound Care Nursing II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor	
41621565	創傷看護学実習Ⅰ Practice in Wound Care Nursing I						4	修士 Master
41621566	創傷看護学実習Ⅱ Practice in Wound Care Nursing II						4	博士 Doctor
41621613	保健医療情報学演習Ⅰ Seminar in Health Informatics I	不 開 講 Not Offered		通年 Full-Year	4		修士 Master	
41621614	保健医療情報学演習Ⅱ Seminar in Health Informatics II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor	
41621615	保健医療情報学実習Ⅰ Practice in Health Informatics I						4	修士 Master
41621616	保健医療情報学実習Ⅱ Practice in Health Informatics II						4	博士 Doctor
41621634	健康行動情報・治療学演習Ⅱ Seminar in Health and Behavioral Informatics & Therapeutics II	不 開 講 Not Offered		通年 Full-Year	4		博士 Doctor	
41621636	健康行動情報・治療学実習Ⅱ Practice in Health and Behavioral Informatics & Therapeutics II						4	博士 Doctor

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41621713	社会予防疫学演習Ⅰ Seminar in Social and Preventive Epidemiology I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621714	社会予防疫学演習Ⅱ Seminar in Social and Preventive Epidemiology II		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621715	社会予防疫学実習Ⅰ Practice in Social and Preventive Epidemiology I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621716	社会予防疫学実習Ⅱ Practice in Social and Preventive Epidemiology II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621723	医療コミュニケーション学演習Ⅰ Seminar in Health Communication I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621724	医療コミュニケーション学演習Ⅱ Seminar in Health Communication II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621725	医療コミュニケーション学実習Ⅰ Practice in Health Communication I	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro 奥原 剛 OKUHARA Tsuyoshi	通年 Full-Year		4	修士 Master
41621726	医療コミュニケーション学実習Ⅱ Practice in Health Communication II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621813	精神保健政策学演習Ⅰ Seminar in Mental Health Policy I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621814	精神保健政策学演習Ⅱ Seminar in Mental Health Policy II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621815	精神保健政策学実習Ⅰ Practice in Mental Health Policy I	連携准教授 Coordinate Assoc. Prof.	山口 創生 YAMAGUCHI Sosei	通年 Full-Year		4	修士 Master
41621816	精神保健政策学実習Ⅱ Practice in Mental Health Policy II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41621913	放射線健康科学演習Ⅰ Seminar in Radiological Health Sciences I			通年 Full-Year	4		修士 Master
41621914	放射線健康科学演習Ⅱ Seminar in Radiological Health Sciences II		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41621915	放射線健康科学実習Ⅰ Practice in Radiological Health Sciences I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41621916	放射線健康科学実習Ⅱ Practice in Radiological Health Sciences II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor

国際保健学専攻 International Health

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41622113	国際保健政策学演習 I Seminar in Global Health Policy I	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	橋爪 真弘 HASHIZUME Masahiro	通年 Full-Year	4		修士 Master
41622114	国際保健政策学演習 II Seminar in Global Health Policy II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622115	国際保健政策学実習 I Practice in Global Health Policy I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622116	国際保健政策学実習 II Practice in Global Health Policy II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622123	国際地域保健学演習 I Seminar in Community and Global Health I	教授 Prof. 講師 Lecturer	古澤 拓郎 FURUSAWA Takuro 柴沼 晃 SHIBANUMA Akira	通年 Full-Year	4		修士 Master
41622124	国際地域保健学演習 II Seminar in Community and Global Health II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622125	国際地域保健学実習 I Practice in Community and Global Health I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622126	国際地域保健学実習 II Practice in Community and Global Health II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622213	人類遺伝学演習 I Seminar in Human Genetics I	教授 Prof.	藤本 明洋 FUJIMOTO Akihiro	通年 Full-Year	4		修士 Master
41622214	人類遺伝学演習 II Seminar in Human Genetics II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622215	人類遺伝学実習 I Practice in Human Genetics I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622216	人類遺伝学実習 II Practice in Human Genetics II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622223	発達医学演習 I Seminar in Developmental Medical Sciences I	教授 Prof.	モイメンリン Moi Meng Ling	通年 Full-Year	4		修士 Master
41622224	発達医学演習 II Seminar in Developmental Medical Sciences II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622225	発達医学実習 I Practice in Developmental Medical Sciences I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622226	発達医学実習 II Practice in Developmental Medical Sciences II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622233	人類生態学演習 I Seminar in Human Ecology I	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	梅崎 昌裕 UMEZAKI Masahiro 小西 祥子 KONISHI Shoko	通年 Full-Year	4		修士 Master
41622234	人類生態学演習 II Seminar in Human Ecology II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622235	人類生態学実習 I Practice in Human Ecology I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622236	人類生態学実習 II Practice in Human Ecology II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622243	生物医化学演習 I Seminar in Biomedical Chemistry I	教授 Prof.	野崎 智義 NOZAKI Tomoyoshi	通年 Full-Year	4		修士 Master
41622244	生物医化学演習 II Seminar in Biomedical Chemistry II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622245	生物医化学実習 I Practice in Biomedical Chemistry I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622246	生物医化学実習 II Practice in Biomedical Chemistry II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41622253	国際環境保健学演習 I Seminar in Global Environmental Health I	准教授 Assoc. Prof.	キム ユンヒ KIM YOONHEE	通年 Full-Year	4		修士 Master
41622254	国際環境保健学演習 II Seminar in Global Environmental Health II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622255	国際環境保健学実習 I Seminar in Global Environmental Health I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622256	国際環境保健学実習 II Seminar in Global Environmental Health II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622313	国際疫学演習 I Seminar in International Epidemiology I	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		修士 Master
41622314	国際疫学演習 II Seminar in International Epidemiology II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622315	国際疫学実習 I Practice in International Epidemiology I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622316	国際疫学実習 II Practice in International Epidemiology II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622413	熱帯病学演習 I Seminar in Tropical Infectious Diseases I	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		修士 Master
41622414	熱帯病学演習 II Seminar in Tropical Infectious Diseases II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622415	熱帯病学実習 I Practice in Tropical Infectious Diseases I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622416	熱帯病学実習 II Practice in Tropical Infectious Diseases II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622513	国際環境医学演習 I Seminar in International Environmental Medicine I	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		修士 Master
41622514	国際環境医学演習 II Seminar in International Environmental Medicine II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622515	国際環境医学実習 I Practice in International Environmental Medicine I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622516	国際環境医学実習 II Practice in International Environmental Medicine II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor
41622613	医学教育国際協力学演習 I Seminar in International Cooperation for Medical Education I	講師 Lecturer	大西 弘高 ONISHI Hirotaka	通年 Full-Year	4		修士 Master
41622614	医学教育国際協力学演習 II Seminar in International Cooperation for Medical Education II			通年 Full-Year	4		博士 Doctor
41622615	医学教育国際協力学実習 I Practice in International Cooperation for Medical Education I			通年 Full-Year		4	修士 Master
41622616	医学教育国際協力学実習 II Practice in International Cooperation for Medical Education II			通年 Full-Year		4	博士 Doctor

分子細胞生物学専攻 Molecular Cell Biology

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41631111	細胞生物学演習 Seminar in Cell Biology	教授 Prof.	岡田 康志 OKADA Yasushi	通年 Full-Year	4		
41631112	細胞生物学実習 Practice in Cell Biology			通年 Full-Year		4	
41631121	生体構造学演習 Seminar in Structural Biology	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	吉川 雅英 KIKKAWA Masahide 堀越 直樹 HORIKOSHI Naoki	通年 Full-Year	4		
41631122	生体構造学実習 Practice in Structural Biology			通年 Full-Year		4	
41631131	細胞構築学演習 Seminar in Structural Cell Biology		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41631132	細胞構築学実習 Practice in Structural Cell Biology			通年 Full-Year		4	
41631141	神経細胞生物学演習 Seminar in Cellular Neurobiology	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	奥山 輝大 OKUYAMA Teruhiro 中戸 隆一郎 NAKATO Ryuichiro	通年 Full-Year	4		
41631142	神経細胞生物学実習 Practice in Cellular Neurobiology			通年 Full-Year		4	
41631211	分子生物学演習 Seminar in Molecular Biology	教授 Prof. 教授 Prof. 教授 Prof.	村上 誠 MURAKAMI Makoto 水島 昇 MIZUSHIMA Noboru 岡田 尚巳 OKADA Takashi	通年 Full-Year	4		
41631212	分子生物学実習 Practice in Molecular Biology			通年 Full-Year		4	
41631221	細胞情報学演習 Seminar in Cellular Signaling		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41631222	細胞情報学実習 Practice in Cellular Signaling			通年 Full-Year		4	
41631261	遺伝情報学演習 Seminar in Genome Informatics	教授 Prof.	岡田 随象 Okada Yukinori	通年 Full-Year	4		
41631262	遺伝情報学実習 Practice in Genome Informatics			通年 Full-Year		4	
41631231	代謝生理化学演習 Seminar in Physiological Chemistry and Metabolism		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41631232	代謝生理化学実習 Practice in Physiological Chemistry and Metabolism			通年 Full-Year		4	
41631251	先端構造学演習 Seminar in Advanced Sructural Studies		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41631252	先端構造学実習 Practice in Advanced Structural Studies			通年 Full-Year		4	
41631411	生物医化学演習 Seminar in Biomedical Chemistry	教授 Prof.	野崎 智義 NOZAKI Tomoyoshi	通年 Full-Year	4		
41631412	生物医化学実習 Practice in Biomedical Chemistry			通年 Full-Year		4	
41631321	脂質医科学演習 Seminar in Medical Lipid Science	連携教授 Partner Prof.	進藤 英雄 SHINDOU Hideo	通年 Full-Year	4		
41631322	脂質医科学実習 Practice in Medical Lipid Science			通年 Full-Year		4	
41631311	がん細胞情報学演習 Seminar in Cancer Cellur Signaling	連携教授 Partner Prof.	吉見 昭秀 YOSHIMI Akihide	通年 Full-Year	4		
41631312	がん細胞情報学実習 Practice in Cancer Cellur Signaling			通年 Full-Year		4	

機能生物学専攻 Functional Biology

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41632111	統合生理学演習 Seminar in Integrative Physiology	教授 Prof.	大木 研一 OHKI Kenichi	通年 Full-Year	4		
41632112	統合生理学実習 Practice in Integrative Physiology			通年 Full-Year		4	
41632121	細胞分子生理学演習 Seminar in Cellular and Molecular Physiology	教授 Prof.	松崎 政紀 MATSUZAKI Masanori	通年 Full-Year	4		
41632122	細胞分子生理学実習 Practice in Cellular and Molecular Physiology			通年 Full-Year		4	
41632131	神経生理学演習 Seminar in Neurophysiology		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41632132	神経生理学実習 Practice in Neurophysiology			通年 Full-Year		4	
41632211	細胞分子薬理学演習 Seminar in Cellular and Molecular Pharmacology	教授 Prof.	廣瀬 謙造 HIROSE Kenzo	通年 Full-Year	4		
41632212	細胞分子薬理学実習 Practice in Cellular and Molecular Pharmacology			通年 Full-Year		4	
41632241	システムズ薬理学演習 Seminar in Systems Pharmacology	教授 Prof.	上田 泰己 UEDA Hiroki	通年 Full-Year	4		
41632242	システムズ薬理学実習 Practice in Systems Pharmacology			通年 Full-Year		4	
41632231	構造生理学演習 Seminar in Biophysics		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41632232	構造生理学実習 Practice in Biophysics			通年 Full-Year		4	
41632311	脳機能動態学演習 Seminar in Brain Functional Dynamics	連携准教授 Assoc. Prof.	石田 綾 ISHIDA Aya	通年 Full-Year	4		
41632312	脳機能動態学実習 Practice in Brain Functional Dynamics			通年 Full-Year		4	

病因・病理学専攻 Pathology, Immunology and Microbiology

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41633111	人体病理学・病理診断学演習 Seminar in Human Pathology and Diagnostic Pathology	教授 Prof.	牛久 哲男 USHIKU Tetsuo	通年 Full-Year	4		
41633112	人体病理学・病理診断学実習 Practice in Human Pathology and Diagnostic Pathology			通年 Full-Year		4	
41633121	分子病理学演習 Seminar in Molecular Pathology	教授 Prof. 教授 Prof. 教授 Prof. 教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof. 教授 Prof. 教授 Prof.	古川 洋一 FURUKAWA Yoichi 武川 睦寛 TAKEKAWA Mutsuhiro 山田 泰広 YAMADA Yasuhiro 西村 栄美 NISHIMURA Emi 柴田 龍弘 SHIBATA Tatsuhiko 小林 妙子 KOBAYASHI Taeko 山崎 聡 YAMAZAKI Satoshi 齊藤 博英 SAITO Hirohide	通年 Full-Year	4		
41633122	分子病理学実習 Practice in Molecular Pathology			通年 Full-Year		4	
41633131	外科病理学演習 Seminar in Surgical Pathology		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41633132	外科病理学実習 Practice in Surgical Pathology			通年 Full-Year		4	
41633211	微生物学演習 Seminar in Microbiology	教授 Prof.	竹田 誠 TAKEDA Makoto	通年 Full-Year	4		
41633212	微生物学実習 Practice in Microbiology			通年 Full-Year		4	
41633221	感染制御学演習 Seminar in Infection Control and Prevention	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	川口 寧 KAWAGUCHI Yasushi 佐藤 佳 SATO Kei	通年 Full-Year	4		
41633222	感染制御学実習 Practice in Infection Control and Prevention			通年 Full-Year		4	
41633311	免疫学演習 Seminar in Molecular Immunology	教授 Prof. 教授 Prof. 教授 Prof. 教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	高柳 広 TAKAYANAGI Hiroshi 岩間 厚志 IWAMA Atsushi 新藏 礼子 SHINKURA Reiko 岡崎 拓 OKAZAKI Taku 長村 登紀子 NAGAMURA Tokiko	通年 Full-Year	4		
41633312	免疫学実習 Practice in Molecular Immunology			通年 Full-Year		4	
41633321	臨床免疫学演習 Seminar in Clinical Immunology		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41633322	臨床免疫学実習 Practice in Clinical Immunology			通年 Full-Year		4	
41633511	応用病理学演習 Seminar in Applied Pathology		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41633512	応用病理学実習 Practice in Applied Pathology			通年 Full-Year		4	
41633411	動物資源学演習 Seminar in Animal Research	教授 Prof.	饗場 篤 AIBA Atsu	通年 Full-Year	4		
41633412	動物資源学実習 Practice in Animal Research			通年 Full-Year		4	

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41633621	腫瘍病理学演習 Seminar in Tumor Pathology	連携教授 Partner Prof.	谷田部 恭	通年 Full-Year	4		
41633622	腫瘍病理学実習 Practice in Tumor Pathology			通年 Full-Year		4	
41633611	分子腫瘍学演習 Seminar in Molecular Oncology	客員教授	広田 亨	通年 Full-Year	4		
41633612	分子腫瘍学実習 Practice in Molecular Oncology			通年 Full-Year		4	
41633631	感染病態学演習 Seminar in Infection Pathology	連携教授 Partner Prof.	高橋 宜聖	通年 Full-Year	4		
41633632	感染病態学実習 Practice in Infection Pathology			通年 Full-Year		4	

生体物理医学専攻 Radiology and Biomedical Engineering

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41634111	放射線診断学演習 Seminar in Diagnostic Radiology	教授 Prof.	阿部 修 ABE Osamu	通年 Full-Year	4		
41634112	放射線診断学実習 Practice in Diagnostic Radiology			通年 Full-Year		4	
41634121	放射線治療学演習 Seminar in Radiotherapy	准教授 Assoc. Prof.	山下 英臣 YAMASHITA Hideomi	通年 Full-Year	4		
41634122	放射線治療学実習 Practice in Radiotherapy			通年 Full-Year		4	
41634131	核医学演習 Seminar in Nuclear Medicine		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41634132	核医学実習 Practice in Nuclear Medicine			通年 Full-Year		4	
41634141	放射線分子医学演習 Seminar in Molecular Radiology	准教授 Assoc. Prof.	細谷 紀子 HOSOYA Noriko	通年 Full-Year	4		
41634142	放射線分子医学実習 Practice in Molecular Radiology			通年 Full-Year		4	
41634211	システム生理学演習 Seminar in System Physiology		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41634212	システム生理学実習 Practice in System Physiology			通年 Full-Year		4	
41634221	生体情報学演習 Seminar in Bioimaging and Biomagnetics	教授 Prof.	浦野 泰照 URANO Yasuteru	通年 Full-Year	4		
41634222	生体情報学実習 Practice in Bioimaging and Biomagnetics			通年 Full-Year		4	
41634231	生体機能制御学演習 Seminar in Biosystem Construction and Control		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41634232	生体機能制御学実習 Practice in Biosystem Construction and Control			通年 Full-Year		4	
41634241	医療材料・機器工学演習 Seminar in Biomaterials and Medical devices	教授 Prof.	伊藤 大知 ITO Taichi	通年 Full-Year	4		
41634242	医療材料・機器工学実習 Practice in Biomaterials and Medical devices			通年 Full-Year		4	
41634271	統合ゲノム学演習 Seminar in Integrative Genomics	教授 Prof.	織田 克利 ODA Katsutoshi	通年 Full-Year	4		
41634272	統合ゲノム学実習 Practice in Integrative Genomics			通年 Full-Year		4	

脳神経医学専攻 Neurosciences

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41635111	神経病理学演習 Seminar in Neuropathology	教授 Prof.	齊藤 貴志 SAITO Takashi	通年 Full-Year	4		
41635112	神経病理学実習 Practice in Cellular Neurobiology			通年 Full-Year		4	
41635121	神経生化学演習 Seminar in Neurochemistry	教授 Prof.	尾藤 晴彦 BITO Haruhiko	通年 Full-Year	4		
41635122	神経生化学実習 Practice in Neurochemistry			通年 Full-Year		4	
41635131	神経生物学演習 Seminar in Neurobiology	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		
41635132	神経生物学実習 Practice in Neurobiology			通年 Full-Year		4	
41635211	発達脳科学演習 Seminar in Developmental Neuroscience	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		
41635212	発達脳科学実習 Practice in Developmental Neuroscience			通年 Full-Year		4	
41635221	認知・言語神経科学演習 Seminar in Cognitive Neuroscience	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		
41635222	認知・言語神経科学実習 Practice in Cognitive Neuroscience			通年 Full-Year		4	
41635231	システム脳医学演習 Seminar in Systems Medical Neuroscience	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		
41635232	システム脳医学実習 Practice in Systems Medical Neuroscience			通年 Full-Year		4	
41635241	感覚・運動神経科学演習 Seminar in Sensory and Motor Neuroscience	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		
41635242	感覚・運動神経科学実習 Practice in Sensory and Motor Neuroscience			通年 Full-Year		4	
41635311	精神医学演習 Seminar in Psychiatry	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof. 特任教授 Project Prof.	笠井 清登 KASAI Kiyoto ZENAS C. CHAO	通年 Full-Year	4		
41635312	精神医学実習 Practice in Psychiatry			通年 Full-Year		4	
41635321	神経内科学演習 Seminar in Neurology	准教授 Assoc. Prof.	佐竹 渉 SATAKE Wataru	通年 Full-Year	4		
41635322	神経内科学実習 Practice in Neurosurgery			通年 Full-Year		4	
41635331	脳神経外科学演習 Seminar in Neurosurgery	教授 Prof. 特任教授 Project Prof.	齊藤 延人 SAITO Nobuhito 金 太一 Kin Taichi	通年 Full-Year	4		
41635332	脳神経外科学実習 Practice in Neurosurgery			通年 Full-Year		4	
41653251	こころの発達医学演習 Seminar in Child Neuropsychiatry	教授 Prof.	小池 進介 KOIKE Shinsuke	通年 Full-Year	4		
41635252	こころの発達医学実習 Practice in Child Neuropsychiatry			通年 Full-Year		4	
41635411	神経動態医科学演習 Seminar in Biomedical Neural Dynamics	連携教授 Partner Prof.	村山 正宜 MURAYAMA Masanori	通年 Full-Year	4		
41635412	神経動態医科学実習 Practice in Biomedical Neural Dynamics			通年 Full-Year		4	
41635421	脳神経病態医学演習 Seminar in Brain Disorders		不開講	通年 Full-Year	4		

41635422	脳神経病態医学実習 Practice in Brain Disorders		Not Offered	通年 Full-Year	4	
----------	--	--	-------------	-----------------	---	--

社会医学専攻 Social Medicine

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41636111	衛生学演習 Seminar in Preventive Medicine	教授 Prof.	石川 俊平 ISHIKAWA Shumpei	通年 Full-Year	4		
41636112	衛生学実習 Practice in Preventive Medicine			通年 Full-Year		4	
41636121	公衆衛生学演習 Seminar in Public Health and Occupational Medicine	教授 Prof.	東 尚弘 HIGASHI Takahiro	通年 Full-Year	4		
41636122	公衆衛生学実習 Practice in Public Health and Occupational Medicine			通年 Full-Year		4	
41636211	法医学演習 Seminar in Forensic Medicine	教授 Prof.	槇野 陽介 MAKINO Yohsuke	通年 Full-Year	4		
41636212	法医学実習 Practice in Forensic Medicine			通年 Full-Year		4	
41636221	医療情報学演習 Seminar in Medical Informatics and Economics	特任准教授 Assoc. Prof.	河添 悦昌 Yoshimasa Kawazoe	通年 Full-Year	4		
41636222	医療情報学実習 Practice in Medical Informatics and Economics			通年 Full-Year		4	
41636431	医療コミュニケーション学演習 Seminar in Health Communication	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	木内 貴弘 KIUCHI Takahiro 奥原 剛 OKUHARA Tsuyoshi	通年 Full-Year	4		
41636432	医療コミュニケーション学実習 Practice in Health Communication			通年 Full-Year		4	
41636631	健康行動情報・治療学演習 Seminar in Health and Behavioral Informatics & Therapeutics	教授 Prof.	脇 嘉代 WAKI Kayo	通年 Full-Year	4		
41636632	健康行動情報・治療学実習 Practice in Health and Behavioral Informatics & Therapeutics			通年 Full-Year		4	
41636421	臨床疫学・経済学演習 Seminar in Clinical Epidemiology	教授 Prof.	康永 秀生 YASUNAGA Hideo	通年 Full-Year	4		
41636422	臨床疫学・経済学実習 Practice in Clinical Epidemiology			通年 Full-Year		4	
41636621	健康・環境医工学演習 Seminar in Environmental Health Sciences	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		
41636622	健康・環境医工学実習 Practice in Environmental Health Sciences			通年 Full-Year		4	
41636411	社会予防疫学演習 Seminar in Social and Preventive Epidemiology	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		
41636412	社会予防疫学実習 Practice in Social and Preventive Epidemiology			通年 Full-Year		4	
41636511	精神保健学演習 Seminar in Mental Health	教授 Prof.	西 大輔 NISHI Daisuke	通年 Full-Year	4		
41636512	精神保健学実習 Practice in Mental Health			通年 Full-Year		4	
41636521	保健社会行動学演習 Seminar in Health and Social Behavior	教授 Prof.	橋本 英樹 HASIMOTO Hideki	通年 Full-Year	4		
41636522	保健社会行動学実習 Practice in Health and Social Behavior			通年 Full-Year		4	
41636531	健康教育・社会学演習 Seminar in Health Education and Health Sociology	准教授 Assoc. Prof.	鎌田 真光 KAMADA Masamitsu	通年 Full-Year	4		
41636532	健康教育・社会学実習 Practice in Health Education and Health Sociology			通年 Full-Year		4	
41636541	医療倫理学演習 Seminar in Biomedical Ethics	教授 Prof.	中澤 栄輔 NAKAZAWA Eisuke	通年 Full-Year	4		
41636542	医療倫理学実習 Practice in Biomedical Ethics			通年 Full-Year		4	
41636811	がん疫学演習 Seminar in Cancer Epidemiology	連携教授 Partner Prof.	鵜飼 知嵩 UGAI Tomotaka	通年 Full-Year	4		
41636812	がん疫学実習 Practice in Cancer Epidemiology			通年 Full-Year		4	

内科学専攻 Internal Medicine

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41637111	循環器内科学演習 Seminar in Cardiology	教授 Prof.	武田 憲彦 TAKEDA Norihiko	通年 Full-Year	4		
41637112	循環器内科学実習 Practice in Cardiology			通年 Full-Year		4	
41637121	血管病態学演習 Seminar in Vascular Biology	不開講 Not Offered		通年 Full-Year	4		
41637122	血管病態学実習 Practice in Vascular Biology			通年 Full-Year		4	
41637131	呼吸器内科学演習 Seminar in Respiratory Medicine	教授 Prof.	鹿毛 秀宣 KAGE Hidenori	通年 Full-Year	4		
41637132	呼吸器内科学実習 Practice in Respiratory Medicine			通年 Full-Year		4	
41637141	消化器内科学演習 Seminar in Gastroenterology	教授 Prof.	藤城 光弘 FUJISHIRO Mitsuhiro	通年 Full-Year	4		
41637142	消化器内科学実習 Practice in Gastroenterology			通年 Full-Year		4	
41637151	腎臓内科学演習 Seminar in Nephrology	教授 Prof.	南学 正臣 NANGAKU Masaomi	通年 Full-Year	4		
41637152	腎臓内科学実習 Practice in Nephrology			通年 Full-Year		4	
41637211	内分泌病態学演習 Seminar in Endocrinology	教授 Prof.	南学 正臣 NANGAKU Masaomi	通年 Full-Year	4		
41637212	内分泌病態学実習 Practice in Endocrinology			通年 Full-Year		4	
41637221	代謝・栄養病態学演習 Seminar in Nutrition and Metabolism	教授 Prof.	山内 敏正 YAMAUCHI Toshimasa	通年 Full-Year	4		
41637222	代謝・栄養病態学実習 Practice in Nutrition and Metabolism			通年 Full-Year		4	
41637231	血液・腫瘍病態学演習 Seminar in Hematology and Oncology	教授 Prof. 教授 Prof. 教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	黒川 峰夫 KUROKAWA Mineo 合山 進 GOYAMA Susumu 南谷 泰仁 NANYA Yasuhito 昆 彩奈 KON Ayana	通年 Full-Year	4		
41637232	血液・腫瘍病態学実習 Practice in Hematology and Oncology			通年 Full-Year		4	
41637241	アレルギー・リウマチ学演習 Seminar in Allergy and Rheumatology	教授 Prof.	藤尾 圭志 FUJIO Keishi	通年 Full-Year	4		
41637242	アレルギー・リウマチ学実習 Practice in Allergy and Rheumatology			通年 Full-Year		4	
41637261	生体防御感染症学演習 Seminar in Infectious Diseases	教授 Prof.	堤 武也 TSUTSUMI Takeya	通年 Full-Year	4		
41637262	生体防御感染症学実習 Practice in Infectious Diseases			通年 Full-Year		4	
41637251	ストレス防御・心身医学演習 Seminar in Stress Science and Psychosomatic Medicine	准教授 Assoc. Prof.	吉内 一浩 YOSHIUCHI Kazuhiro	通年 Full-Year	4		
41637252	ストレス防御・心身医学実習 Practice in Stress Science and Psychosomatic Medicine			通年 Full-Year		4	
41637311	臨床病態検査医学演習 Seminar in Clinical Laboratory Medicine	准教授 Assoc. Prof.	蔵野 信 KURANO Makoto	通年 Full-Year	4		
41637312	臨床病態検査医学実習 Practice in Clinical Laboratory Medicine			通年 Full-Year		4	

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41637331	輸血医学演習 Seminar in Transfusion Medicine		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41637332	輸血医学実習 Practice in Transfusion Medicine			通年 Full-Year		4	
41637411	臨床医工学演習 Seminar in Clinical Biotechnology	教授 Prof.	鄭 雄一 Chung Ungil	通年 Full-Year	4		
41637412	臨床医工学実習 Practice in Clinical Biotechnology			通年 Full-Year		4	
41637511	分子糖尿病学演習 Seminar in Molecular Diabetology	連携教授 Partner Prof.	(未定)	通年 Full-Year	4		
41637512	分子糖尿病学実習 Practice in Molecular Diabetology			通年 Full-Year		4	
41637611	医学教育学演習 Seminar in Medical Education Studies	教授 Prof.	江頭 正人 ETO Masato	通年 Full-Year	4		
41637612	医学教育学実習 Practice in Medical Education Studies			通年 Full-Year		4	

生殖・発達・加齢医学専攻 Reproductive, Developmental and Aging Science

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41638111	生殖内分泌学演習 Seminar in Reproductive Endocrinology	教授 Prof.	廣田 泰 HIROTA Yasushi	通年 Full-Year	4		
41638112	生殖内分泌学実習 Practice in Reproductive Endocrinology			通年 Full-Year		4	
41638121	生殖腫瘍学演習 Seminar in Gynecological Oncology		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41638122	生殖腫瘍学実習 Practice in Gynecological Oncology			通年 Full-Year		4	
41638131	周産期医学演習 Seminar in Perinatal Medicine		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41638132	周産期医学実習 Practice in Perinatal Medicine			通年 Full-Year		4	
41638141	分子細胞生殖医学演習 Seminar in Molecular Cellular Reproductive Medicine	教授 Prof.	廣田 泰 HIROTA Yasushi	通年 Full-Year	4		
41638142	分子細胞生殖医学実習 Practice in Molecular Cellular Reproductive Medicine			通年 Full-Year		4	
41638211	小児科学演習 Seminar in Pediatrics	教授 Prof.	加藤 元博 KATO Motohiro	通年 Full-Year	4		
41638212	小児科学実習 Practice in Pediatrics			通年 Full-Year		4	
41638221	発達発育学演習 Seminar in Developmental Pediatrics		(未定)	通年 Full-Year	4		
41638222	発達発育学実習 Practice in Developmental Pediatrics			通年 Full-Year		4	
41638231	小児外科学演習 Seminar in Neonatal Surgery	教授 Prof.	藤代 準 FUJISHIRO Jun	通年 Full-Year	4		
41638232	小児外科学実習 Practice in Neonatal Surgery			通年 Full-Year		4	
41638241	小児腫瘍学演習 Seminar in Pediatric Oncology		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41638242	小児腫瘍学実習 Practice in Pediatric Oncology			通年 Full-Year		4	
41638311	老年病学演習 Seminar in Geriatrics	教授 Prof.	小川 純人 OGAWA Sumito	通年 Full-Year	4		
41638312	老年病学実習 Practice in Geriatrics			通年 Full-Year		4	
41638321	老化制御学演習 Seminar in Aging Research		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41638322	老化制御学実習 Practice in Aging Research			通年 Full-Year		4	
41638511	成育政策科学演習 Seminar in Health Policy for Children and Families	連携准教授 Assoc. Prof.	森崎 菜穂 MORISAKI Naho	通年 Full-Year	4		
41638512	成育政策科学実習 Practice in Health Policy for Children and Families			通年 Full-Year		4	
41638511	健康長寿医学演習		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41638512	健康長寿医学実習			通年 Full-Year		4	

外科学専攻 Surgical Science

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41639111	呼吸器外科学演習 Seminar in Thoracic Surgery	教授 Prof.	佐藤 雅昭 SATO Masaaki	通年 Full-Year	4		
41639112	呼吸器外科学実習 Practice in Thoracic Surgery			通年 Full-Year		4	
41639121	心臓外科学演習 Seminar in Cardiovascular Surgery	教授 Prof.	小野 稔 ONO Minoru	通年 Full-Year	4		
41639122	心臓外科学実習 Practice in Cardiovascular Surgery			通年 Full-Year		4	
41639131	消化管外科学演習 Seminar in Gastrointestinal Surgery	教授 Prof.	馬場 祥史 BABA Yoshifumi	通年 Full-Year	4		
41639132	消化管外科学実習 Practice in Gastrointestinal Surgery			通年 Full-Year		4	
41639141	肝胆膵外科学演習 Seminar in Hepatobiliary Pancreatic Surgery	教授 Prof.	長谷川 潔 HASEGAWA Kiyoshi	通年 Full-Year	4		
41639142	肝胆膵外科学実習 Practice in Hepatobiliary Pancreatic Surgery			通年 Full-Year		4	
41639151	泌尿器外科学演習 Seminar in Urology	教授 Prof.	久米 春喜 KUME Haruki	通年 Full-Year	4		
41639152	泌尿器外科学実習 Practice in Urology			通年 Full-Year		4	
41639161	人工臓器・移植外科学演習 Seminar in Artificial Organ and Transplantation	教授 Prof.	長谷川 潔 HASEGAWA Kiyoshi	通年 Full-Year	4		
41639162	人工臓器・移植外科学実習 Practice in Artificial Organ and Transplantation			通年 Full-Year		4	
41639171	腫瘍外科学演習 Seminar in Surgical Oncology	教授 Prof. 教授 Prof.	石原 聡一郎 ISHIHARA Soichiro 志田 大 SHIDA Dai	通年 Full-Year	4		
41639172	腫瘍外科学実習 Practice in Surgical Oncology			通年 Full-Year		4	
41639181	血管外科学演習 Seminar in Vascular Surgery	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	石原 聡一郎 ISHIHARA Soichiro 保科 克行 HOSHINA Katsuyuki	通年 Full-Year	4		
41639182	血管外科学実習 Practice in Vascular Surgery			通年 Full-Year		4	
41639191	乳腺・内分泌外科学演習 Seminar in Breast and Endocrine Surgery	准教授 Assoc. Prof.	田辺 真彦 TANABE Masahiko	通年 Full-Year	4		
41639192	乳腺・内分泌外科学実習 Practice in Breast and Endocrine Surgery			通年 Full-Year		4	
41639311	皮膚科学演習 Seminar in Dermatology	教授 Prof.	佐藤 伸一 SATO Shinichi	通年 Full-Year	4		
41639312	皮膚科学実習 Practice in Dermatology			通年 Full-Year		4	
41639321	形成外科学演習 Seminar in Plastic and Reconstructive Surgery	教授 Prof.	岡崎 睦 OKAZAKI Mutsumi	通年 Full-Year	4		
41639322	形成外科学実習 Practice in Plastic and Reconstructive Surgery			通年 Full-Year		4	
41639331	口腔顎顔面外科学演習 Seminar in Oral and Maxillofacial Surgery	教授 Prof.	星 和人 HOSHI Kazuto	通年 Full-Year	4		
41639332	口腔顎顔面外科学実習 Practice in Oral and Maxillofacial Surgery			通年 Full-Year		4	
41639341	整形外科演習 Seminar in Orthopedic Surgery	教授 Prof.	田中 栄 TANAKA Sakae	通年 Full-Year	4		
41639342	整形外科実習 Practice in Orthopedic Surgery			通年 Full-Year		4	
41639351	眼科学演習 Seminar in Ophthalmology	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	本庄 恵 HONJO Megumi 宮井 尊史 MIYAI Takashi	通年 Full-Year	4		
41639352	眼科学実習 Practice in Ophthalmology			通年 Full-Year		4	

科目番号 Course Code	授業科目 Course	担当教員 Instructor		学期 Term	単位数 Credits		備考 Notes
		職名 Job Title	氏名 Name		演習 Seminar	実習 Practice	
41639361	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学演習 Seminar in Otolaryngology and Head & Neck Surgery	准教授 Assoc. Prof.	近藤 健二 KONDO Kenji	通年 Full-Year	4		
41639362	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学実習 Practice in Otolaryngology and Head & Neck Surgery			通年 Full-Year		4	
41639371	リハビリテーション医学演習 Seminar in Rehabilitation Medicine	教授 Prof.	緒方 徹 OGATA Toru	通年 Full-Year	4		
41639372	リハビリテーション医学実習 Practice in Rehabilitation Medicine			通年 Full-Year		4	
41639551	麻酔科学演習 Seminar in Anesthesiology	教授 Prof. 准教授 Assoc. Prof.	内田 寛治 UCHIDA Kanji 住谷 昌彦 SUMITANI Masahiko	通年 Full-Year	4		
41639552	麻酔科学実習 Practice in Anesthesiology			通年 Full-Year		4	
41639521	救急・集中治療医学演習 Seminar in Emergency and Critical Care Medicine	教授 Prof.	土井 研人 DOI Kent	通年 Full-Year	4		
41639522	救急・集中治療医学実習 Practice in Emergency and Critical Care Medicine			通年 Full-Year		4	
41639711	侵襲代謝・手術医学演習 Seminar in Operating room management and surgical metabolism		不開講 Not Offered	通年 Full-Year	4		
41639712	侵襲代謝・手術医学実習 Practice in Operating room management and surgical metabolism			通年 Full-Year		4	
41639611	緩和医療学演習 Seminar in Palliative Medicine	准教授 Assoc. Prof.	住谷 昌彦 SUMITANI Masahiko	通年 Full-Year	4		
41639612	緩和医療学実習 Practice in Palliative Medicine			通年 Full-Year		4	

医学系研究科ウェブサイトについて

1 医学系研究科ウェブサイトはこちら

(和文)



(英文)



2 組織・スタッフ

(和文)



(英文)



東京大学大学院医学系研究科 学籍に関する内規

制定 平 5.1.27
改正 平 8.3.13 平 10.3.11
平 15.4.1 平 16.4.1
平 18.4.1 平 19.4.1

1. 転 専 攻

- (1) 専攻の定員に欠員がある場合は、研究科委員会（以下「委員会」という。）の議を経て、学年の始めに限り、同一課程の他の専攻に転専攻を許可することがある。
- (2) 転専攻を志願する者は、所定の願書に、現在の指導教員の理由書、所属専攻長、志望専攻長及び志望する指導教員の承認印を受け、2月1日から2月末日までに研究科委員会委員長（以下「委員長」という。）に願い出るものとする。
- (3) 転専攻を許可された者の在学年限、休学期間は前専攻在学時と通算する。

2. 指導教員の変更

- (1) 教育上有益であると認められる場合は、委員会の議を経て、指導教員の変更を許可することがある。
- (2) 指導教員の変更は学期の始めとする。ただし、指導教員の異動の場合はこの限りとしない。
- (3) 指導教員の変更を志願する者は、所定の願書に、現在の指導教員の理由書、志望する指導教員及び専攻長の承認印を受け、夏学期は2月1日から2月末日、冬学期は8月1日から8月末日、指導教員異動の場合は変更する1ヶ月前までに委員長に願い出るものとする。

3. 学内研究指導の委託（学則第 11 条）

- (1) 学生の学内研究指導の委託に関する内規（平 10.3.11 制定）による。

4. 他の大学の大学院又は研究所等における研究指導（学則第 12 条）

- (1) 学生の研究指導の委託に関する内規（昭 58.2.9 制定）による。

5. 外国の大学の大学院への留学（学則第 28 条）

- (1) 教育上有益であると認められる場合は、委員会の議を経て、外国の大学の大学院への留学を許可することがある。
- (2) 外国の大学の大学院への留学を志願する者は、所定の願書に、指導教員及び所属専攻長の承認印を受け、留学する1ヶ月前までに委員長に願い出るものとする。
- (3) 外国の大学の大学院への留学は1年以内とする。

6. 在学のまま海外へ渡航しての学術調査

- (1) 2ヶ月以上にわたり海外へ渡航して学術調査に従事する場合は、委員会の議を経て、休学でなく在学の身分のまま学術調査に従事することを許可することがある。
- (2) この場合、当該学術調査が次のいずれにも該当しなければならない。
 - ① 学術調査が、当該学生の研究と同じ研究分野に属し、かつ、当該学生の研究上、とくに必要であると認められるものであること。
 - ② 学術調査に指導教員またはこれに準ずる教員が同行し、常時、当該学生の指導に当たることができるものであること。ただし、特別の事情により教員が同行できない場合は、学生が指導教員の事前に指示した計画に基づき調査を行い、かつ、指導教員と学生との連絡が円滑に行われる場合であること。
 - ③ 学術調査に従事する期間が、おおむね、修業年限の2分の1（修士課程は1年、博士後期課程は1年半、医学博士課程は2年）を超えないこと。
 - ④ 学術調査に従事するにあたり、当該学生は、原則として、常勤の公務員（いわゆる常勤的非

常勤職員を含む)の身分を兼ねないこと。

- (3) 在学のまま海外へ渡航しての学術調査を志願する者は、所定の願書に、指導教員の推薦書を付し、所属専攻長の承認印を受け、学術調査に従事する1ヶ月前までに委員長に願い出るものとする。

7. 修業年限の特例(学則第5条、第6条)

- (1) 修業年限の特例に関する内規(平4.10.21制定)による。

8. 正課による海外調査・研修・見学

- (1) 正課による海外調査・研修・見学は、所属教室を通して所定の用紙で届けることとする。

9. 再入学(学則第22条)

- (1) 再入学は、退学前に在学していた専攻を志願するものとする。
(2) 再入学を志願する者は、所定の願書に再入学する専攻長及び指導教員の承認印を受け、2月1日から2月末日までに委員長に願い出るものとする。
(3) 再度の再入学はこれを許可しない。
(4) 再入学を許可された者の在学年限は、前在学期間と通算して、所定の年限を越えることはできない。1年未満の在学期間はこれに算入しない。
(5) 再入学を許可された者の休学期間は、前在学中の休学期間と通算して、所定の期間を越えることはできない。
(6) 再入学を許可された者の修業年限及び修了に係る単位の認定については、委員会の議を経てこれを決定する。

10. 修業年限・在学年限等の期間一覧

事 項	修士課程	専門職学位課程	博士後期課程	医学博士課程
修業年限	2 年	2年(又は1年)	3 年	4 年
特例による修業年限	1 年	1 年	2 年	3 年
在学年限	3 年	3年(又は2年)	5 年	6 年
*他大学等研究委託	1 年	1 年	2 年	2 年
*海外留学	1 年	1 年	1 年	1 年
*在学での海外調査	1 年	1 年	1年半	2 年
休学期間	2 年	2年(又は1年)	3 年	4 年

注) ①修業年限とは、当該課程を修了するのに必要な期間。

②在学年限とは、当該課程に籍を置いておける期間。

③*は修業年限に含むことができる。

④*は在学年限に含む。

⑤休学期間は、修業年限及び在学年限には含まない。

⑥休学期間中のみ、授業料は免除となる。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

東京大学大学院医学系研究科 学生の学内研究指導の委託に関する内規

制定 平10. 3. 11

改正 平16. 4. 1

(申請・許可)

第1条 本研究科学生は、指導教員が教育上有益であると認めた場合、学内の他の教員に研究指導を受けることができる。

第2条 前条を願ひ出る学生は当該指導教員、専攻長および研究指導を委任される教員（以下「副指導教員」という。）の承認を得たのち、研究科委員会委員長に申請するものとする。

第3条 研究科委員会委員長は、前条の申請があったとき、研究科委員会の議を経てこれを許可する。

2 副指導教員が本研究科以外の場合は、本研究科委員会の議を経た後、その研究科委員会委員長に依頼し、承認された場合はこれを許可する。

(期間)

第4条 研究指導の委託の期間は特に定めない。

(必要経費等)

第5条 研究指導の委託に関して係る必要経費等については、指導教員と副指導教員の協議によるものとする。

(災害保険への加入)

第6条 研究指導の委託を申請する学生は、学生教育研究災害障害保険へ加入しなければならない。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

制定	平 5. 3. 10
改正	平 9. 3. 12 平10. 3. 11
	平16. 4. 1 平17. 4. 1
	平17. 10. 1 平19. 12. 19
	平20. 3. 5 平21. 3. 18
	平22. 5. 26 平23. 12. 21
	平29. 2. 22 平30. 1. 24
	平30. 9. 19

第1章 修士課程

第1条 修士課程修了見込者は、「学位論文題目届」を指定された期間に医学系研究科委員会委員長（以下「委員長」という。）に提出するものとする。

第2条 修士課程修了見込者は、修了見込年度の指定された期日までに次の各号について所定の部数を委員長に提出するものとする。

- (1) 修士論文
- (2) 修士論文要旨
- (3) その他各専攻の定めるもの

第3条 提出された論文につき、各専攻は審査を行い、「優」「良」「可」「不可」の判定を行う。なお、「不可」は不合格とする。

第4条 医学系研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）は、前条の結果に基づき学位を授与すべきか否かを議決する。

第5条 前条において授与が認められた者には、東京大学が定める日付により学位を授与する。

第2章 専門職学位課程

第6条 専門職学位課程修了見込者のうち標準修業年限2年コースの者は、修了見込年度の所定の期日までに次の各号について所定の部数を委員長に提出するものとする。

- (1) 課題研究論文
- (2) 抄録

第7条 提出された課題研究論文につき、各専攻は審査を行い、「可」「不可」の判定を行う。なお、「不可」は不合格とする。なお、標準修業年限1年コースの者については、別途定める修了要件に基づき修了の可否の判定を行う。

第8条 研究科委員会は、前条の結果に基づき学位を授与すべきか否かを議決する。

第9条 前条において授与が認められた者には、東京大学が定める日付により学位を授与する。

第3章 博士課程

第10条 博士課程修了見込者（在学中の3月又は9月に標準修業年限に達する見込の者のみ）は、最終学年の指定された期間に「学位論文題目届」を委員長に提出するものとする。

第11条 博士課程修了見込者は、指定された期日までに次の各号について所定の部数を委員長に提出するものとする。

- (1) 学位授与願
- (2) 学位論文（仮製本）
- (3) 履歴書
- (4) 論文目録
- (5) 論文の内容の要旨
- (6) (同意承諾書 1部) (共同研究者又は共著者がいる場合提出)

- (7) (副論文 [学位論文と研究内容において関連があり、博士課程修了見込者が著者で学術誌に掲載もしくは受理された原著論文] 5部) (副論文がある場合提出)
- 2 学位論文は下記の項目を備え、かつ研究倫理規定に準拠した英文又は日本語で書かれ、博士課程修了見込者が行った研究を記述した論文であること。なお、学位論文はその一部として副論文及び他の発表論文の内容を含んでもよいが、それとは独立に作成されたものでなければならない。また、書式ならびに記述にあたっての留意点は、別紙「博士学位論文作成要項」を参照すること。
- a 要旨
 - b 序文
 - c 方法
 - d 結果
 - e 考察
 - f 参考文献
- なお、「目的」および「結論」の項目を新たに設け、それぞれを「序文」および「考察」の後に記述してもよい。
- 第12条 課程修了に必要な年数以上在学し、所定の単位を修得した者（以下「在学期間延長者」という。）は、第11条に準じて博士論文を提出することができる。
- 第13条 課程修了に必要な年数以上在学し、所定の単位を修得して退学した者（以下「満期退学者」という。）は、第12条に準じて博士論文を提出することができる。ただし、退学後3年以内とする。
- 第14条 前条で提出された学位論文につき、本研究科委員会で審査委員会を設置する。
- 2 審査委員会の構成員5名は次により指名する。
- (1) 少なくとも1名の教授を指名する。
 - (2) 共著者及び指導・紹介教員は指名できない。また、姻戚関係者は指名できない。
 - (3) 本人の了解が得られない場合は、医学系研究科長、附属病院長、医科学研究所長、定量生命科学研究所長及び退職半年前の教員は指名できない。
 - (4) 原則として指導教員の所属教室の教員および指導に係わった他教室の教員等は指名できない。ただし、特別の理由がある場合は認めることもある。
 - (5) 指導教員は、3名を推薦するが、少なくとも2名は所属する専攻以外の教員とする。その内1名を医学系研究科以外の学内の教員若しくは学外の大学院又は研究所等の教員等を専攻長の了解を得たうえで、選ぶことができる。
 - (6) 前号で、医学系研究科以外の学内の教員若しくは学外の大学院又は研究所等の教員等を選ぶ場合の基準は次によるものとする。
 - a. 大学院担当教員の場合
博士課程の研究指導及び授業担当適格者（大学学部卒業後10年以上の研究歴を有し、博士論文作成の指導をしている者（指導教員））
 - b. その他の場合
大学学部卒業後10年以上の研究歴を有し、かつ、a. に相当すると専攻会議で認めた者
- (7) 各専攻は、専攻所属教員より2名を指名する。
- 3 各専攻は、審査委員会構成委員より主査1名、副査1名を選任する。
- 4 学位審査のうち論文発表の部分は、指導教員と主査の合意により公開することができる。
- 5 知的財産保護の要請があった場合、可否の判定以外はすべて、研究科委員会の判断により公表しないとするることができる。
- 第15条 審査委員会の審査は、以下の観点から学位論文を評価し、必要な修正を求め、かつ可否の判断をするものとする。ただし、学位論文の表現および書式に不備があり内容の把握が困難な場合、主査（副査）は、審査委員の同意を得て審査会の前に修正を求めることができる。
- (1) 研究テーマの着眼点、研究の進め方の独創性
 - (2) 結論を導くに至った根拠の豊富さ、確実さ
 - (3) 研究成果の重要度
 - a. 当該領域における研究進展への貢献度
 - b. 予見される波及効果

- (4) 研究の完成度
英文論文として発表していない場合、近い将来発表の見込みの有無
 - (5) 当該研究への主体的取り組み度
 - (6) 当該研究の理解度
 - (7) 関連領域の研究についての熟知度
 - (8) 研究倫理の遵守
 - (9) 副論文がある場合、上記の8項目について同様に評価し、本論文の評価に加味することができる
- 2 審査委員会は、原則としてその論文が提出された日の属する年度末までに論文の審査を終了しなければならない。ただし、特別の事由があるときは、研究科委員会の承認を得てその期間を1ヵ年以内に限り延長することができる。
- 3 審査の結果、審査委員全員の合意の下で不合格と判断した場合は、審査委員会はその理由を申請者に明示しなければならない。
- 4 前項の審査の結果が不合格となったものの、その後新たな研究の展開が得られた場合、博士論文提出者は、以下の書類を揃えて、新たな審査委員会のもとで審査を受けることができる。本条件を満たす者は、第12条又は第13条に準じて博士論文の提出ができるものとする。
- (1) 新規の論文題目のもとで執筆された論文
 - (2) 新たな研究の展開が得られたことを示す文書等
 - (3) 新たな審査に対する指導教員の意見書
- 5 学位取得後完成し専門誌に掲載された学位関連の論文は、指導教員が大学院係に提出するものとする。
- 第16条 審査委員会で合格した者は次の各号を指定された期日までに所定の部数を委員長に提出するものとする。
- (1) 学位論文
 - (2) 論文の内容の要旨
 - (3) その他別に定める資料
- 第17条 第16条の手続きを行った者について、本研究科委員会は、審査委員会の結果に基づき学位を授与すべきか否かを議決する。
- 第18条 第11条に基づき論文を提出し、前条において授与が認められた者には、東京大学が定める日付により学位を授与する。なお、第12条に基づき論文を提出し3月又は9月に修了する者はこれに準ずるものとする。また、第12条に基づく在学期間延長者及び第13条に基づく満期退学者で、前条において授与が認められた者には、議決した本研究科委員会開催日付で学位を授与する。

第4章 修業年限の特例者

第19条 修業年限の特例による学生は、本研究科「修業年限の特例に関する内規（平4.10.21 制定）」による。

附 則

この規則は、平成10年3月11日から施行する。

附 則

- (1) この規則は、平成17年4月1日の在学者から適用し、同日付で施行する。

附 則

- (1) この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- (2) 本規則中に指定されている学位申請手続きに関する日付については、当該日が勤務を要しない日にあたる場合は、以下のとおり取り扱うものとする。
 - ①当該日が所定の期間の開始日に当たる場合は、所定の期間内で最初に勤務を要する日に変更する。
 - ②当該日が所定の期間の最終日に当たる場合は、所定の期間内で最後に勤務を要する日に変更する。

附 則

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年12月19日から施行し、平成19年10月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年5月26日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成23年12月21日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年2月22日から施行する。

附 則

この規則は、平成30年1月24日から施行する。

附 則

この規則は、平成30年9月19日から施行する。

東京大学大学院医学系研究科 学生の研究指導の委託に関する内規

制定 昭58. 4. 27

改正 昭58. 4. 27 平 2. 9. 19

全改 平 4. 10. 21

改正 平16. 4. 1

(申請)

第1条 本研究科学生が、国内外の他の大学院、研究所又は病院等（以下「他の大学院等」という。）において研究指導を受けることを指導教員が教育上有益であると認めた場合、当該指導教員は専攻長の承認を得たのち、関係書類を添えて研究科委員会委員長に申請するものとする。

(許可)

第2条 研究科委員会委員長は、前条の申請があったとき、研究科委員会の議を経て当該他の大学院等の長に当該学生の研究指導の委託を依頼し、承認された場合にこれを許可する。

(協議)

第3条 東京大学大学院学則第12条第1項に定める協議は、研究科委員会委員長と当該他の大学院等の長との間で行うものとする。

(委託期間)

第4条 他の大学院等への研究指導の委託期間は、1年以内とする。ただし、教育上有益と認めるときは、修士課程の学生を除き更に1年以内に限り延長することができる。

(指導教員の任務)

第5条 本研究科の当該学生の指導教員は、学生の研究指導につき委託先の担当教員（以下「委託先の担当教員等」と言う。）と連絡を十分行うものとする。

2 委託期間中の研究指導に係わる成績評価は、委託先の担当教員等の意見を求めて本研究科の指導教員が行うものとする。

(災害保険等への加入)

第6条 他の大学院等へ研究指導の委託をされた学生は、学生教育研究災害障害保険又は他の大学院等が指定する研究災害補償制度へ加入しなければならない。

附 則

この規則は、平成4年10月21日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

博士学位論文作成要項

平成 22 年 4 月 21 日

医学系研究科

博士学位論文は以下に従い作成すること。

書式

ワープロ等を用い、A4 紙に次の書式に準じて作成すること。

- ① 余白は上下左右各 25～30 mm とし、段組は 1 段、行間は 2 行とする。ただし、図、表の説明文については、行間は 1 行とする。
- ② 本文の英文フォントは「Times」、和文は「明朝」あるいはそれらの類似フォントとし、サイズは 12 ポイントとする。論文のタイトルは 16 ポイントとする。
- ③ 余白中央下に頁数を入れる。

記載内容

記載にあたっては以下の点に留意すること。

- ① 論文のタイトル、所属、指導教員名、申請者名の順で記載すること。
- ② 「要旨」は和文 300 字あるいは英文 250 語以内とする。
- ③ 「序文」には、先行論文を多数引用しながら、できるだけ詳しく本研究の背景（当該領域および関連領域に関する研究の進展状況を含む）、目的および着眼点を記載すること。
- ④ 「方法」には、各実験や手法の適確性を把握できるように、用いた方法を簡潔かつ明瞭に記述すること。
- ⑤ 「結果」には、研究の全体の把握が容易なように、各実験や手法の意図、結果ならびに導き出される結論あるいは示唆を、筋道立てて記載すること。実験や研究内容を分担した場合は、申請者が行なった部分が明確に分かるように記載すること。
- ⑥ 「考察」には、本研究からどのような結論が導かれるか、何を発見したのか、先行研究などを含めた上でその独自性と当該および関連領域へのインパクトは何か、本研究の限界（方法上の弱点など）は何か、本研究の意義、今後の発展の方向性について記載すること。
- ⑦ 「引用文献」は、学術誌の場合は著者名、論文タイトル、雑誌名、巻数、頁、発行年をこの順序で、本の場合は著者名、本のタイトル、著者、頁、発行年を同様に記載すること。本文中の引用箇所に〔文献番号〕を挿入すること。（〔文献番号〕は指導教員又は審査委員会の指示があった場合に限り、著者・発行年とすることができる。）図や表は本文中に挿入し、タイトルと説明文を記載すること。（図・表は指導教員又は審査委員会の指示があった場合に限り、巻末にまとめることができる。）説明文は、図・表の実験や手法を容易に理解できるよう十分な内容を含みかつ簡潔であること。
- ⑧ 該当する場合は、倫理面への配慮について必ず記載すること。倫理委員会の承認を得た研究であればその承認番号を記載する。
- ⑨ 該当する場合は、謝辞について記載する。

なお、「目的」および「結論」の項目を新たに設け、それぞれを「序文」および「考察」の後に記述してもよい。

制定 平4. 10. 21
改正 平4. 12. 2 平16. 4. 1
平17. 4. 1 平18. 6. 21
令和7. 12. 18

第1章 修士課程

- 第1条 修士課程の学生で、修了要件に定められた所要科目、単位を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げた者については、研究科委員会の議を経て修業年限を1年短縮することができる。
- 第2条 修業年限の短縮を希望する学生は、希望修了年度の10月末日までに指導教員の承認を得て、必要書類を専攻長に提出するものとする。
- 第3条 専攻長は、11月開催の専攻会議に諮り、修士短縮審査会を設置するものとする。ただし、医科学専攻については、医科学専攻運営委員会に諮り、修士短縮審査会の設置について審議するものとする。
- 第4条 修士短縮審査会は、指導教員を除く当該専攻所属教員3名で構成し、修業年限の特例に値する研究業績の有無を審査する。ただし、医科学専攻に係る修士短縮審査会の構成員については、別に定める。
- 第5条 修士短縮審査会は、12月開催の専攻会議に、前条の審査結果を報告するものとする。ただし、医科学専攻については、医科学専攻運営委員会に報告するものとする。
- 第6条 専攻長は前条の審査結果を本研究科委員会に報告するものとする。
- 第7条 前2条により修業年限の短縮を認められた者は、指定日までに学位論文を研究科委員会委員長に提出するものとする。
- 第8条 提出された学位論文については、通常の課程の学位論文と同一に取り扱う。
- 第9条 提出された学位論文が、「不合格」の場合、又は学位論文を提出しなかった場合は、修業年限の短縮は認めない。

第2章 博士課程

- 第10条 博士課程の学生で、修了要件に定められた所要科目、単位を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げた者については、研究科委員会の議を経て修業年限を1年短縮することができる。
- 第11条 修業年限の短縮を希望する学生は、希望修了年度の8月末日までに指導教員及び専攻長の承認を得て、学位予備論文及び必要書類を研究科委員会委員長に提出するものとする。
- 第12条 研究科委員会委員長は、9月の開催の研究科委員会に諮り、博士短縮審査会を設置するものとする。
- 第13条 博士短縮審査会は、指導教員を除く研究科委員会委員長および本研究科教員5名で構成し、修業年限の特例に値する研究業績の有無を審査する。
- 第14条 博士短縮審査会は、10月開催の本研究科委員会に、前条の審査結果を報告するものとする。
- 第15条 前条により修業年限の短縮を認められた者は、11月15日までに学位論文を研究科委員会委員長に提出するものとする。
- 第16条 提出された学位論文については、通常の課程博士の学位論文と同一に取り扱う。
- 第17条 提出された学位論文が「不合格」の場合、或いは学位論文を提出しなかった場合は、修業年限の短縮は認めない。
- 第18条 本学医学部のMD研究者プログラムで修了論文が合格し（これを、MD研究者育成プログラム修了生とする）、学部通則第26条第1項に定める卒業要件を満たし、二年以内に医学博士課程に進学した者又は、本学医学部の医科学専攻修士課程で大学院学則第5条第1項に定める修了要件を満たし、修了後空白期間をあげずに医学博士課程に進学したものは、修了要件に定められた所要科目及び単位を修得した場合、以下の(1)~(5)の条件のもと、博士短縮審査会を省略して学位論文の審査を受けることができる。学位論文の審査の結果「合格」となった場合には、研究科委員会の議を経て修業年限を1年短縮することができる。
- (1) 上記の第10条~第15条は適用されない。
 - (2) 第16条と第17条は適用される。
 - (3) 修了要件に定められた所要科目、単位を修得している、あるいは、その見込み。

- (4) 指導教員と専攻長の承認が得られている。
- (5) 卒業の4.5ヶ月前（例えば、3月末に卒業の場合は11月15日）までに、学位論文を研究科委員会に提出する。

附 則

この規則は、平成4年12月2日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

- 1 第1条から第9条は、当分の間、適用しない。
- 2 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

長期履修学生制度に関する申し合わせ

制定 平成26年5月28日

改正 平成31年2月19日

大学院学則第2条第7項に基づく「長期履修学生制度」に関する取扱いについては、以下のとおりとする。

1. 申請手続

長期履修学生に申請を希望する者は、指導教員及び専攻長の承認を受けて、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 長期履修学生申請書（所定様式）
- (2) 長期履修計画書（所定様式）
- (3) 在職証明書等（有職者のみ）
- (4) その他必要と認める書類

2. 申請期間

- (1) 「大学院学則第2条第7項に規定する「長期にわたる教育課程の履修」に関する申合せ」の3(1)の資格による者は、入学手続き時に申告のうえ、所定の期限までに申請手続を行わなければならない。
- (2) 「大学院学則第2条第7項に規定する「長期にわたる教育課程の履修」に関する申合せ」の3(2)、(3)の資格による者は、原則として、学年終了月の2ヵ月前までに申請手続を行わなければならない。

3. 許可

長期履修学生の許可は、就業、出産、育児又は介護の形態や計画、障害の程度や状態又はリハビリテーションの状況、履修計画等について審査の上、研究科委員会の議を経て決定する。

4. 期間の変更申請

長期履修学生として許可された者が、長期履修の期間を変更する必要がある場合は、原則として、学年終了月の2ヵ月前までに変更申請手続を行わなければならない。

5. 期間の変更許可

長期履修の期間の変更許可は、申請書類等を審査の上、研究会委員会の議を経て決定する。

6. 長期履修の開始時期

原則として、学年の始めとし、学年の中途から開始することはできない。

7. 長期履修学生に係る授業料の額

「東京大学における検定料、入学料及び授業料等の費用に関する規則」による。

「演習」及び「実習」の単位認定について

平成15年9月3日

医学系研究科委員会承認

海外就学等により、学年の途中から休学する者に係る「演習」及び「実習」の単位認定については、下記のとおり、取り扱うことが出来るものとする。

記

海外就学等により当該年度の後期から休学をし、次年度以降の前期に休学が終了し後期から復学する者の「演習」及び「実習」については、休学した年度の前期と復学した年度の後期を合算し、通年科目の「演習」及び「実習」として認定する。修得年度は復学時の年度とする。

(例)

	前期	後期
平成15年度	在学	休学
平成16年度	休学	在学

平成15年度前期と平成16年度後期の履修をもって、平成16年度に通年科目としての「演習」及び「実習」を修得したものとする。

以上

医学系研究科における授業科目の成績に関する説明の取扱いについて

制定 平成30年6月20日

改正 令和4年11月16日

医学系研究科委員会

1. 学生は、自己の成績について、明らかにそれが誤りであると思われる場合のみ、所定の様式を大学院担当へ提出し、成績評価の確認を申請することができる。ただし、その申請期間は、成績発表日から1か月以内とし、期間経過後の申請は不可とする。
2. 成績評価の確認結果に納得できないとの申し出があった場合には、授業科目を開講する専攻の専攻会議において成績評価を確認することとする。

附 則

この規則は、平成30年6月20日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年11月16日から施行する。

東京大学大学院医学系研究科・研究ガイドライン（実験系）

平成 22 年 10 月

平成 26 年 3 月改訂

平成 26 年 4 月改訂

このガイドラインは東京大学大学院医学系研究科で研究(実験系)を行う研究者が、研究を行う前、研究期間中、論文を発表するさいに行うべきことをまとめたものである。近年の医学・生命科学の進歩による研究内容の高度化・多様化に伴い、研究を施行するさいに遵守すべき事項も急速に増加しつつある。このガイドラインはその中から、とくに新しく研究を始める研究者が留意すべきことを中心にまとめたものである。同時にこのガイドラインは東京大学大学院医学系研究科が発信する研究成果の質を向上させ、外部からの信頼を高め、さらに知的財産など研究によって得られる権利などを確保するためのものでもある。

1. 研究着手前にすべきこと（各種申請を含む）

➤ 東京大学科学研究行動規範委員会規則の熟読

まず研究着手に先立ち、東京大学科学研究行動規範委員会規則を熟読する (http://www.u-tokyo.ac.jp/public/pdf/180310_02.pdf)。この規則は、科学研究に携わる東京大学の研究者を対象とし、東京大学の科学研究における行動規範に違反する不正行為に対処し、行動規範の遵守を促すための委員会の設置及び不正行為に対する措置等について定めたものである。

➤ 研究費の適正使用

科研費をはじめとする競争的研究資金を含め、研究費の適正使用の重要性は論を待たない。研究費の不正使用は絶対に行ってはならない。この点に関連して、毎年更新される科研費ハンドブックを熟読すること。

➤ ヒトを対象とする研究について

ヒト（患者及び健常人）由来の試料（ゲノム、遺伝子を含む）を使用する研究、およびヒトを対象とする調査研究の従事者は、東大研究倫理セミナーを受講し、受講証を得なければならない。各種指針などの情報も関連サイト（東大研究倫理

セミナーにて指導あり) から得て事前に理解する。また、必要に応じて研究開始前には「研究倫理審査申請書」又は、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査申請書」を倫理委員会(窓口: 研究倫理支援室 <http://www.m.u-tokyo.ac.jp/ethics/ethcom/index.html>)へ提出する。研究開始にあたっては、部局倫理委員会の承認が必要である。承認後、必要があれば、研究参加者(被験者)への研究内容説明、同意書の取得を行う。なお、研究期間中に申請内容に変更を必要とする事態が生じた場合には、変更申請書を提出して承認を得なければならない。

➤ 動物実験について

動物実験を行う者は、事前に動物実験講習を受講し、講習修了証を得なければならない。動物実験を開始する前には動物実験計画書を作成し、部局動物実験委員会(附属疾患生命工学センター動物資源研究領域事務室)へ提出する。実験開始には部局の動物実験委員会の審査と部局長の承認が必要である。研究立案においては、「東京大学動物実験実施規則」並びに「東京大学動物実験実施マニュアル」(<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/gakunai/res/res1/kenkyoweb/bioscience/doubutuHOME.html>)を熟読し、計画書には3R(Replacement [代替実験の検討]、Reduction [動物数削減]、Refinement [動物の苦痛軽減])を十分に考慮したことを動物実験計画書に明記することが実験者の責務となる。なお、実験期間中に申請内容に変更が生じた場合には変更計画書を提出し、再審査を受けなければならない。

➤ 遺伝子組換え実験について

遺伝子組換え実験を行う研究者は、事前に遺伝子組換え実験規則(「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」並びに関連する学内規則)を熟知し、実験の実施に当たってはその規則を遵守しなければならない。

実験を開始する前には遺伝子組換え実験に関する申請書(拡散防止措置承認申請書)を作成し、部局のバイオサイエンス研究支援担当事務(遺伝子組換え生物等委員会)へ提出する。実験開始には部局の遺伝子組換え生物等委員会の審査と部局長の承認あるいは実験内容により大臣確認が必要である。施設の適合性などには十分注意する。なお、実験期間中に申請内容に変更が生じた場合には変更届を提出しなければならない。部局および全学で開催される実験規則の講習を必要に応じて受講し、規則の熟知に努める。

➤ 放射線取扱実験について

医学部に所属している研究者は、医学部 RI 管理室に使用登録の申請をし、次の3つの条件を満たさなければならない。1) RI 教育・訓練（本医学部卒業生は免除される）と、RI 健康診断（年2回）を受けている者。2) 年1回の医学部 RI 講習会に出席している者。3) さらに3カ月おきに教室の RI 担当者が管理室に提出する使用予定者名簿に名前が載っている者。なお、病院、他大学からの短期受け入れ（短期利用者）の場合、3カ月毎に短期利用申請書を提出しなければならない。所属部局での登録資格を失うと自動的に医学部での使用はできなくなるので、各部局の健康診断、講習会には忘れずに出席すること。また、初回の医学部の部局講習会、および年1回の医学部 RI 講習会に出席が求められる。

RI 物質の取扱に際して、安全性の管理のために3つの注意点（3つの“C”）がある。すなわち、

Contain : 放射性物質を狭い空間に閉じ込め、広げないこと。

Confine : 利用する放射能の量を最小限にとどめる。

Control : 放射性物質の購入、使用、廃棄などをきちんと管理する。

また、 γ 線、X線、 β 線は外部から作用して人体に障害を与える。これを防御するには被ばく時間を短くする、線源から距離をとる、さらに線源との間に遮蔽物を置くという3原則がある。こうしたことに留意して放射線取扱実験を行う。

➤ 医学部付属病院での侵襲的介入試験

医学部付属病院で実施される侵襲的介入試験の開始にあたっては、病院の「臨床試験審査委員会」（窓口：臨床研究支援センター <http://www.cresc.h.u-tokyo.ac.jp/index.html>）に研究内容を申請し、委員会の承認を得る必要がある。

➤ 研究に関する環境安全管理について

医学部・医学系研究科では、適正且つ確実な安全衛生管理を実現するため、環境安全管理室（旧安全衛生管理室）を設置している。教育・研究に関わる全ての構成員は、「自他己の安全確保と環境への配慮」に基づく活動を義務づけられており、入学・入職時に安全衛生教育に関するガイダンスを受けることが求められる。また、学術研究開始前に以下の学内環境安全管理システムおよび関連法令・学内規定等を熟知する必要がある。

1) 研究開始前に以下の学内環境安全管理システムおよび関連法令・学内規定等を熟知する必要がある。環境基本法・化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）などに基づき、環境安全研究センター主催の環境安全講習会を研究開始前に受講し、修了証を取得すること。

2) 化学物質在庫／排出管理・高圧ガス管理・実験機器管理：労働安全衛生法・東京大学化学物質管理規定・麻薬及び向精神薬取締法・薬事法・消防法・高圧ガス保安法・東京大学高圧ガス管理規定・東京大学高圧ガス自主管理基準などに基づき、環境安全本部が主催する各種講習会を受講すること（「化学物質等（化学物質・UTCRIS・高圧ガス）取り扱い講習会」「機器等（レーザー、遠心器、オートクレーブ、ドラフトチャンバー）取り扱い及び点検講習会」）。とくに、化学物質・高圧ガス管理については東京大学薬品管理システム（UTCRIS；詳細はhttps://utcris.adm.u-tokyo.ac.jp/CRIS_v1_0/index.aspx 参照）への入力を徹底することが全学における適正な在庫管理に必須となるため、講習会修了者であっても研究室主任・研究室安全衛生管理担当者から各研究室個別の教育・ガイダンスを受けることが強く望まれる。

3) 職場環境の安全確保：大学内における事故・災害・環境汚染を未然に防止するため、労働安全衛生法・消防法などに基づき、産業医による職場巡視および点検を実施している。巡視先研究室の構成員は産業医職場巡視に協力をし、産業医より通達される改善指摘事項への対応を図る。改善状況は衛生管理者が実施する衛生管理者巡視（再巡視）にて確認されるため、立ち会いに協力する。また、万が一、事故・災害が発生した場合は、緊急度に応じて速やかに関係部署（警察/消防署・全学警備室・医学部防災センター・医学部庶務係・医学部環境安全管理室など）に連絡し、適切な対応を図る。事故・災害の内容は東京大学安全衛生管理業務支援システム（UTSMIS）にてオンライン登録し、環境安全管理室の承認を得る。

➤ コンソーシアム型の大型プロジェクトへの対応

本「東京大学大学院医学系研究科・研究ガイドライン」を説明の上、共同研究者と事前に話し合い、研究成果の信憑性や権利の優位性を適切に確保するための策を講じる。

重要ポイント1：実験開始は申請の承認を得てから

ここに記した各種申請は時に承認まで時間を要することがあるが、申請が承認

されてはじめて実験を開始することができる。簡単な申請内容であるからといって、承認されることを見越して実験を承認前に開始することは絶対に行ってはならない。

2. 研究期間中にすべきこと（実験ノート）

▶ 実験を進める上での留意点

- ・ 新規性、独創性の確認：常に情報収集を心掛け、研究の新規性、独創性を確認する。
- ・ 実験系の妥当性：新しい発見については、二つ以上の方法（例えば生化学、生理学、或いは組織学的方法）で矛盾のない結果を得ることが通常は必要である。
- ・ データ再現性の確保：独立した複数回の実験で矛盾の無い結果を得なければならない。
- ・ 適切な対照実験の確保：必要な対照を欠いてしまった実験は再度実施する。
- ・ 適切な統計学的解析：適切な統計処理を行い、有意差を客観的に判断する。

▶ 実験記録（ノート）の作成上の注意事項

実験ノートはできる限り詳細に記載し、それを読めば追試が可能な内容にしなければならぬ。新しい発見は、深い洞察とその丁寧な記録にかかっていると言っても過言ではない。

<記録対象となるもの>

- ・ 実験ノート（目的、方法、結果、考察を記載したもの）
- ・ 生データ（ノートに貼付不可能な結果；大量の塩基配列解析データや画像データ等）
- ・ 委託業者から入手した情報（動物飼育記録、抗体作製状況報告書など）

<実験ノート作成上の注意>

- A4版に統一する。どのような種類でもよいが、ページを必ずつけ、初めのページに目次（Index）をつけると後で便利である。また、各実験ノートには通し番号をつけること。
- ノートは原則として綴じてあるスタイルのものを使用する。日常の実験簡易メモとしてルーズリーフタイプのノートを使用することは良しとする。
- 記載はペンやボールペンなど消せないものを使用する（鉛筆は不可）。
- 綺麗な字である必要はないが、「読める字」で記載する。他人が解読不可能な

記載は意味がない。

- 記録年月日（年号は西暦で統一）、ページ番号（ノートに記載の無い場合）は必ず記載すること。
- 余白は残さない。（詰めて書くこと）。余白が生じた場合は斜線を引くか、或は「以下余白」と記載し、後の追加記載が出来ない状態にする。
- 誤記修正の場合はその箇所二本線を引き（元の状態が分かること）、別箇所（上下や右隣り）に書き直す。修正液の使用は不可とする。
- 実験開始にあたっては、実験タイトルと目的（何を明らかにするために実験を行うか、こういう結果が出たら、何が言えるか）を記載する。
- 資料の貼付は糊の使用を原則とする。
- 考察の記載も重要である。さらにその時に思いついたアイデアなども記載することが重要。課題に関係ないことでも構わない。こうしたアイデアメモが実験計画や特許取得など、後に生かされるケースがある。
- 実験に使用した試薬に関しては、（とくに研究室での共有ではないものについては）その商品名やロットナンバーも記録すること（容器からラベル類を剥がして貼るのも可）。
- 他人（研究室内外どちらも）からサンプルの供与を受けた場合、誰から、いつ、何を、どれほど供与されたかを明記すること。手紙が添えてある場合はその保存も非常に大切である。

その他の実験記録に関する諸注意

- 実験開始に当たってプロトコルを必ず作る。新たな実験を開始するときは、目的、方法の手順、揃えるべき試薬と器具、おおよその必要経費を記載したプロトコルを作成し、スタッフあるいは直接指導者と十分討論すること。このプロトコルはノートに貼付する。
- 塩基配列解析、FACS 解析データ、顕微鏡観察データなど、電子媒体で保存可能なデータも可能な限りプリントし、紙ベースでデータ保管する。大量なボリュームのためにノートに貼れないものはファイルに綴じ、ノートには生データの所在箇所を明示する。打ち出したデータに日付記載の無い場合には手書きで出力日と実験担当者名を記載する。
- 生データにはデータ取得日、実験者、その他のデータ解釈に必要な事項を記入し、必ず保存する。保存は、個々をノートに張り付ける方法が望ましいが、不可能な場合、別のルーズリーフにまとめる、或は、透明の袋に綴じ入れる方法などがある。実験ノートとは別に保存する場合は、保存データの縮小コ

ピーを実験ノートに貼付し、生データの所在を明示する（ファイル番号等）。

- X線フィルムに関しては、そのコピーをノートに貼り、生データは保管専用クリアファイル等を各自が作成してそこに保管する（ノートへの保管場所記載も忘れずに）。その場合、X線フィルムにはデータ取得年月日と実験者名を記載する。
- 言うまでもなく、こうした実験ノート以外のファイルの保管も非常に重要である。ファイルの表紙には所有者の名前、テーマ名、保存開始年月日を記載すること。
- 電子媒体での実験記録の保管は破損による消失の危険性があり、書き換えによる改ざん防止策も考えなければならない。データ（大量の塩基配列情報や画像データなど）によっては、その質的、量的観点からプリントベースで保管することが不都合と判断された場合は電子媒体での保管も良いものとする。

重要ポイント2：実験ノートは研究室のもの

実験ノートは個人に帰属するものではなく、研究室に帰属するものであることを理解すること。研究者が別の研究室に移動する場合、実験ノートは原則として研究室に残さなければならない。

3. 論文作成と投稿

- 著者情報：著者の所属欄に関連プロジェクト等の情報も漏れなく明記する。
- 共著者の選定：関係者を共著者とすべきか否かの判断（貢献度）と、共著者候補からの承諾取得。共著者には投稿予定原稿を熟読した上で著者の順番を含め承諾を請うこと。
- 引用を適切に行うこと。先行研究のフェアな引用、また、出典の明記を確実に行う。
- 謝辞の確認：研究協力者（試料提供者など）や研究費提供団体への謝辞。謝辞を掲載する場合は研究協力者に承諾を得ること。なお、科研費により得た研究成果を発表する場合の表示例が科研費ハンドブックに記載されているので、参考にすること（2010年度版では、21ページ）。
- 該当する場合は、「研究倫理審査」又は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査」の承認を受けていること、「東京大学の動物実験指針に沿って実験を行ったこと」を必ず明記すること。

- 外部提供試料：外部提供試料を用いた実験結果を発表する場合、契約書 (MTA: material transfer agreement) に従った手続き（事前承認など）を行うと同時に、提供先を Materials に明記する。
- 発表承諾の取得：製薬企業等から化合物の提供を受けた場合、発表前に提供先の承諾を得る。
- 以上のことを含め、投稿論文に関する一切の責務は **corresponding author** が負うことになる。
- 公表した内容に関して、求めがあれば、生物材料、組換え遺伝子、抗体、試薬などを提供すること。ただし、試料によっては法律によって、研究室外あるいは学外へ持ち出すことが禁じられているものもあることに留意すること。

重要ポイント 3：実験データの適正な取り扱い

原著論文 (original article) では一つの実験結果 (図や表) を複数の原著論文で使うことはできない (dual publication の禁止)。コントロールとなるような図を 2 つ以上の論文で使っているケースが時に見られるが、原著論文ではこうしたことは認められない。

図の加工が過度にならないように注意すること。Photoshop などでパソコンに取り込んだ図を必要以上に加工するケースが時に見られる。例えば SDS-PAGE で非特異的なバンドが見られたからといって、これをパソコン上で人工的に消すなどの加工は許されない。雑誌によってはこうした加工を論文発表前にチェックしている場合があり、過度の加工が見つかった場合には論文発表の取り消しと一定期間の論文投稿が禁止されることがある。

重要ポイント 4：利益相反状態の確認と開示

論文の作成にあたっては利益相反 (COI: conflict of interest) の有無に十分に留意し、日本医学会や関係各学会の利益相反ガイドラインに沿って適切に研究を行い、必要事項を発表の際に開示することが必要である。寄附講座に所属する研究者は、発表に際しては所属施設で使われる正式名称を記載し、資金提供元の企業名を謝辞に明記する。複数の企業などから資金提供されている場合には、ある一定基準額 (例、200 万円以上/企業) を超えていれば、該当する企業名をすべて記載し、透明性の確保を図ることが求められる。和文例として、謝辞：XXX 寄附講座は、YYY 製薬の寄附金により支援されている。英文例として、Acknowledgements: Department of XXX is an endowment department, supported with

an unrestricted grant from YYY. の記載が明示されるべきである。

4. 論文投稿時にしなければならないこと

➤ ノート、生データの永年保存（コピーなど）

論文中の図表（文中で示した数値結果や **data not shown** のものも含む）作成の由来となった結果に関しては、その実験の 1 次データや 2 次データに加え、その時の実験プロトコール、材料情報などが記載された実験ノートのコピーをファイルにまとめ、各研究室で保管する。コピーの対象となる箇所については実験担当者が責任者と相談して決定する。

➤ サンプルの保存（提供リクエスト時の準備）

論文投稿に際し、発表研究で利用した材料の内、重要保管対象となるもの（遺伝子、発現プラスミド、抗体、蛋白など）を実験担当者と責任者が相談して決め、これらを責任者が管理する。

➤ 特許の出願

研究成果を特許出願する場合には学会や論文発表の前に出来るだけ早めに申請すること。基礎系は医学部研究支援係、臨床系は医学部附属病院パブリックリレーションセンターを通じて知的財産室に申告すること。いったん学会や論文で研究成果が公表されると特許性が消失することに十分留意すること。

ただし、日本では学会での発表後（予稿集の配布時点から）6 ヶ月以内であれば、また、論文発表（論文が発行された日から）6 ヶ月以内であれば、特許申請することが可能である。

特許法関連 HP: <http://www.jpo.go.jp/index/tokkyo.html>

重要ポイント 5：共著者の投稿前の承諾

共著者には投稿前に必ず論文を送付し、共著となることの承諾を得ること。雑誌によっては利益相反状態の申告や **copyright agreement** のさいに著者全員の署名を求めることがあり、事前に承諾を得ないと思わぬトラブルになる。共著者になることを全ての研究者が喜ぶわけではない、ということを認識しておくことが重要である。

また共著になることを要請された場合は、論文を投稿前に読んで、共著者になることの承諾の有無を相手方に速やかに伝えることが重要である。当該論文に何

らかの問題が生じた場合は、共著者にも責任がかかってくることを認識することが大切である。

東京大学大学院医学系研究科・研究ガイドライン（調査系）

平成 23 年 1 月 26 日 教授総会承認

平成 26 年 3 月改訂

平成 26 年 4 月改訂

このガイドラインは東京大学大学院医学系研究科で研究（調査系）を行う研究者が、研究を行う前、研究期間中、論文を発表する際に行うべきことをまとめたものである。近年の医学研究の進歩による研究内容の高度化・多様化に伴い、研究を施行する際に遵守すべき事項も急速に増加しつつある。このガイドラインはその中から、とくに人や人の集団を対象にして、医学および健康に関わる調査研究を新たに始める研究者が留意すべきことを中心にまとめたものである。なお、調査研究の多様性から、このガイドラインに記載された事項が、全ての調査研究にあてはまるものではないことに留意されたい。同時に、このガイドラインは東京大学大学院医学系研究科が発信する研究成果の質を向上させ、外部からの信頼を高めるためのものである。

1. 研究着手前にすべきこと（各種申請を含む）

➤ 東京大学科学研究行動規範の熟読

まず研究着手に先立ち、東京大学の科学研究行動規範（Code of Conduct for Scientific Research）を熟読する。この規範は、科学研究に携わる東京大学の研究者を対象とし、東京大学の科学研究における基本的な原則と心構えについて定めたものである。

- 東京大学科学行動規範

http://www.u-tokyo.ac.jp/public/pdf/180310_02.pdf

➤ 人（ヒト）を対象とする研究について

人および人の集団を対象とする調査研究（診療記録を使った研究を含む）、ならびにヒト（患者および健常人）由来の試料（ゲノム、遺伝子を含む）を使用する研究に従事する者は、東大研究倫理セミナーを受講し、受講証の交付を得なければならない。各種指針などの情報も関連サイト（東大研究倫理セミナーにて指導あり）から得て事前に理解する。また、必要に応じて研究開始前に「研究倫理審査申請書」または「ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査申請書」を提出し、医学系研究科・医学部倫理委員会の承認を得る。東大研究倫理セミナーや研究倫理審査申請に関わる詳細は、医学系研究科・医学部倫理委員会のホームページを参照すること。

- 医学系研究科・医学部倫理委員会

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/ethics/ethcom/index.html>

人（ヒト）に関わる研究の倫理指針としては、「疫学研究に関する倫理指針」「臨床研究に関する倫理指針」「遺伝子研究に関する倫理指針」などがあり、それぞれ該当するものについて遵守すること。なお、前述の諸指針については現在（2014年3月）、見直しの検討が行われており、近い将来改訂される可能性がある。Biomarker を利用した研究については、遺伝子情報の有無により適応指針が異なるものの、いずれの場合も事前の倫理審査ならびに患者へのインフォームドコンセント、情報の管理体制などに十分配慮する。既存資料を使用する場合も適切な個人情報保護などの対策を講ずることが必要である。なお、個々の人を直接の対象としない研究（例：市町村単位の集計データを対象とした研究）や既に公表された資料を用いた研究（例：労働人口の推移）は多くの場合、倫理審査の対象にはならない。また、連結不可能匿名化された資料のみを用いる研究は「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」の適用対象外とされている。ただし、研究者自身の倫理的自覚が問われることでもあり、研究開始に先立って各種の研究倫理指針を自ら確認すること（大学院生の場合は指導教員ともよく相談すること）。

上記の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」においては、「倫理委員会が

あらかじめ指名した者」が「研究者等が所属する医療機関内の患者記録から専ら統計、単純な統計処理等を行う研究」他、一定の条件を満たしたと判断した場合に倫理委員会への付議を必要としない旨定めているが、それぞれの研究者が勝手に判断して良いということではないことに注意する。

人を対象にした介入研究を行う場合には、適切な方法で研究対象者の募集および同意の取得を行うことが要求される。また、研究開始にあたって倫理委員会の承認が必要である。承認後、研究参加者（被験者）への研究説明、同意書の取得を開始する。医学部付属病院で実施される侵襲的介入試験の開始にあたっては、病院の「臨床試験審査委員会」（窓口：臨床研究支援センター <http://www.cresc.h.u-tokyo.ac.jp/index.html>）に研究内容を申請し、委員会の承認を得る必要がある。なお、研究期間中に申請内容に変更を必要とする事態が生じた場合には、変更申請書を提出して承認を得なければならない。

重要ポイント1：対象者への調査開始は倫理委員会の承認を得てから

ここに記した各種申請は承認まで時間を要することがあるが、申請が承認されてはじめて調査を開始することができる。簡単な申請内容であるからといって、承認されることを見越して調査を承認前に開始することは行ってはならない。

2. 調査研究遂行時の注意

A) 知的財産への適切な配慮（該当する場合）

心理テストや QOL 尺度などの中には著作権のついたものがある。知的財産権の主張が存在する知的産物の研究利用においては、著作権所有者との十分なコミュニケーション、必要な契約ないし登録などを行う。また、原版尺度に対して質問項目の文言の修正、選択肢数の変更、項目順序の置換、一部項目のみの部分使用といった操作を加えた場合には、原版とは別の性質を持つ尺度になってしまい、信頼性・妥当性の検討をあらためて行う必要があることを銘記すること。研究目的上どうしても改変の必要がある場合には、原版作製者からの許諾を得ることが望ましいとされるが、少なくとも原版についての引用と改変したことを論文に明記する必要がある。

B) データ収集に際しての配慮（該当する場合）

データ収集を行うフィールド（施設など）の許可を得る場合には、先方の責任者（施設長など）から書面で許可を得ることが後のトラブルを防ぐことになる。また、**biomarker** の採取、危険性のあるフィールドへの立ち入りなど安全性に配慮する必要がある場合、研究実施者ならびに対象者に対する安全配慮を十分行う（大学院生の場合は指導教員に適宜相談しその指示に従うこと）。

C) 研究データの管理（該当する場合）

➤ 個人情報に関わる調査データの管理における注意事項

（データの保管）

- ・ 調査データは可能な限り早い時期に匿名化する。連結可能匿名化を行った場合には、対応表はデータとは別個の場所に管理する。
- ・ 個人識別情報（氏名や病歴番号など通常業務において使われる個人番号など）は、施錠された保管所で管理し、鍵の保有者を限定する。
- ・ 個人識別情報（匿名 ID との対応表も該当する）を電子ファイルにて保存する場合には、暗号化しパスワードを付与する。
- ・ 連結可能匿名化されたデータについても可能な限り暗号化して保管することが望ましい。
- ・ USB メモリでデータを移動する場合には、USB メモリ全体かファイルにパスワードを付与すること。また、できるだけアンチウイルス機能のついた USB メモリを利用する。
- ・ データの保存期間と廃棄方法については、倫理委員会へ提出する申請書に記載し、その承認事項に従う。

（連結不可能匿名化されていないデータを解析するコンピュータの管理）

- ・ パソコンには ID とパスワードを設定し、ゲストアカウントは削除する。また適切なファイヤーウ

オールを設定する。

- ・ 解析するパソコンはアンチウイルスソフトをインストールし、最低 1 週間に 1 度以上ウイルス定義と OS をアップデートすること。
- ・ 解析用パソコンに Winny その他のファイル共有ソフトをインストールしない。
- ・ データを保管して固定して使用するパソコンは盗難に備えてワイヤーなどで物理的に施錠する。

➤ 二次データ解析を行う場合の注意事項

- ・ あらかじめデータの提供元に対して成果発表をする許可を得ておく。解析結果によって提供元が発表を許可しないリスクを認識すること。
- ・ データの収集された過程を、自ら収集したのと同様に把握しておくこともデータ解析を行う者の責任である。

D) その他の調査データ管理に関する諸注意（該当する場合）

- ・ 研究上必要な手順の一部を外部業者に依頼する場合には、守秘契約書(non-disclosure agreement)を締結してから業務を依頼する。特に個人情報を含むデータを業者とやりとりする場合には細心の注意を払うこと。
- ・ 研究上必要なソフトウェアなどの開発を依頼する場合には、納品物の知的財産権の帰属をあらかじめ書面で確認しておくことが後のトラブルを予防することになる。

E) 研究費の適正使用

研究費の不正使用は絶対に行ってはならない。科学研究費支出にあたっては科研費ハンドブックを参照するとともに、研究責任者や事務担当者によく相談し、計画的な使用に留意すること。

重要ポイント 2：データの管理は不測の事態に備える

個人情報に関するデータの管理には細心の注意を払うとともに、データ管理の不備による事故は、社会の批判的になることを意識すること。不測の事態に備えてフェールセーフ (fail-safe) の考え方で予防的な行動をとることが重要である。

3. 論文作成と投稿

➤ 著者・共著者

- ・ 共著者の選定：どの関係者を共著者とすべきか否かの判断（貢献度）と、共著の承諾取得（順番を含む）は論文作成にあたって必須事項である。共著者には投稿原稿を提示した上で承諾を請うこと。
- ・ 大学院生は、共著論文あるいは共同研究の内容を学位論文として提出する際には、全ての共著者あるいは共同研究者から同意書を取ること。

➤ 表現と引用

- ・ 引用を適切に行うこと。先行研究のフェアな引用、また、出典の明記を確実にを行う。自分の論を展開する上で都合の良い先行研究だけを引用するのではなく、逆の意見を含めた冷静中立な引用を心がける。
- ・ 他の論文や既発表の論文などの丸写しは、部分的であっても絶対にしないこと。他の論文から、一文以上を丸写しすることは剽窃と見なされる場合がある。例外として丸写しが認められるのは、カギ括弧（あるいは“”）で区切った上で、出所を明確にしている場合など、特別な条件が満たされた場合のみである。
- ・ 表で数字を羅列するよりも、ポイントを絞ったグラフや図を使用するのが良い。提示する情報は多すぎず、少なすぎず、を心がける。

➤ その他の留意点

- ・ 以上のことを含め、投稿論文に関する一切の責務は **corresponding author** が負うことになる。
- ・ 公表した内容に関して、求めがあれば、質問票などを提供する準備をしておくこと。

- ・ 研究協力者（データ提供者、フィールドの責任者など）や研究費提供団体への謝辞について、個人名を掲載する場合は、その者の承諾を得ること。
- 参考資料
 - ・ 論文作成時に盛り込む内容については、「観察的疫学研究報告の質改善のための声明（STROBE 声明）」が参考になる。
- STROBE 声明
<http://www.strobe-statement.org/>

重要ポイント 3：論文投稿上の注意

同じ論文を同時に複数の雑誌に投稿することはできない（二重投稿の禁止）。原著論文（original article）では一つの解析結果（図や表）を複数の原著論文で使うことはできない。ただし、たとえ同じデータであっても、目的や解析方法が異なれば許容される場合もあるので、その場合には論文投稿時に Editor に関連論文を申告して判断を仰ぐこと。

重要ポイント 4：共著者の投稿前の承諾

共著候補者には投稿前に論文を提示し、共著となることの承諾を得ること（著者の順番を含む）。雑誌によっては利益相反状態の申告や copyright agreement の際に著者全員の署名を求めることがあり、事前に承諾を得ないと思わぬトラブルになる。共著者になることを全ての研究者が喜ぶわけではない、ということ認識しておくことが重要である。

また共著になることを要請された場合は、論文を投稿前に熟読して、共著者になることの承諾の有無を相手方に速やかに伝えることが重要である。当該論文に何らかの問題が生じた場合は、共著者にも責任がかかってくることを認識することが大切である。

重要ポイント 5：利益相反状態の有無の確認

論文の作成にあたっては利益相反（COI: conflict of interest）の有無に十分に留意し、日本医学会や関係各学会の利益相反ガイドラインに沿って適切に研究を行い、必要事項を発表の際に開示することが必要である。寄附講座に所属する研究者は、発表に際しては所属施設で使われる正式名称を記載し、資金提供元の企業名を謝辞に明記する。複数の企業などから資金提供されている場合には、ある一定基準額（例、200 万円以上／企業）を超えていれば、該当する企業名をすべて記載し、透明性の確保を図ることが求められる。和文例として、謝辞：XXX 寄附講座は、YYY 製薬の寄附金により支援されている。英文例として、Acknowledgements: Department of XXX is an endowment department, supported with an unrestricted grant from YYY. の記載が明示されるべきである。適切な COI の開示を行わなかった場合には社会的責任を問われることになり、十分な注意を要する。

4. 特許の取得について（該当する場合）

➤ 特許の出願

研究成果を特許出願する場合には、学会や論文発表の前に出来るだけ早めに申請すること。基礎・保健系（山の上地区）は医学部研究支援係、臨床系（病院地区）は医学部附属病院パブリックリレーションセンターを通じて知的財産室に申告すること。いったん学会や論文で研究成果が公表されると特許性が消失することに十分留意すること。

ただし、日本では、学会での発表後（予稿集の配付時点から）6 ヶ月以内であれば、また、論文発表後（論文が発行された日から）6 ヶ月以内であれば、特許申請することが可能である。

- 特許法関連 HP

5. 知見の公表に際して行うこと

➤ 研究協力者へのフィードバック

論文が採択され成果の公表を行った際には、研究協力者に対して成果報告を行うことが望ましい。研究協力者が一般住民や患者など非専門家の場合には、一般向けに分かりやすく知見を解説した報告を作成し、ホームページや大学の広報等の手段を利用して成果報告を行うことが考えられる。

研究協力者に対して調査の参加同意を求める際に、どのような形で成果の公表や、研究協力者に対する成果の報告を行う予定であるか明示しておくことが望ましい。

6. よりよい研究のために

以下の事柄は必須ではないが、良い研究を行うための心がけとして参考までに列記する。

➤ 計画を立てる

研究に着手する前に、どのような目的で研究を行うのか、何を明らかにしたいのか、結果が出たら何が言えるのかを考え、それに沿ってデータ収集・解析を行う。当該トピックに関する先行研究のレビューや最新情報の収集を心掛け、研究の新規性、独創性、意義を確認する。ただ「過去に行われていない」、「誰もやっていない」というだけでは研究の意義にはならない。

研究目的と仮説は出来る限り明文化しておく。これらが研究上の方法と密接に関連することになる。また、データ収集は研究目的を意識してそれに沿うように実施すること。解析方法についてもあらかじめ決めておく方が良い。データ収集を完了してから、そのデータの限界を解析方法で補うことはきわめて難しいことを肝に銘じておく。データが先にある二次データ解析であっても、解析計画を先に立てて、仮説を基に解析を行うことが推奨される。

調査ツール、特に質問紙は複数の目で吟味して可能であれば実際の対象者に近い集団でパイロットテストを行うこと。介入を行う場合には、その介入が実際にどの程度行われたのか（penetration）を検証できるようにデータ収集を考える。これらは可能な限り研究計画書として文書にしておく。解析に含める変数の相互の関係について、可能な限り図で整理するのが良い。

➤ 調査を進める上での留意点

- ・ データの品質管理：紙データの電子化にはダブルエントリー（2名で同時入力した結果を照合することにより入力ミスを少なくする手続き）が望ましい。
- ・ 適切な統計学的解析と解釈：適切な統計処理を行い、統計的な有意差だけでなく、差の大きさ（effect size）の意味を客観的に判断する。
- ・ 統計的検定の前提・仮定を理解し、実際のデータでもその前提が満たされているのかを検証する。